

京 医

No.2185

令和2年11月15日

都 報

11.15
2020
November

毎月2回（1日・15日）発行 購読料・年6,000円

K Y O T O

京都府・医師会 京都検査センターからの
お知らせ

第46回京都医学会を Web 開催

目 次

- 2 京都府・医師会 京都検査センターからのお知らせ
 - 4 第 46 回京都医学会を Web 開催
 - 10 地区医師会との懇談会「綾部」
 - 12 社会保険診療報酬支払基金関係功績者厚生労働大臣表彰
 - 12 国民健康保険関係功績者厚生労働大臣表彰
 - 14 学術講演会における「確認問題」
 - 16 医療事故調査制度『相談窓口』のお知らせ
 - 18 勤務医通信
 - 20 京都医学史研究会 医学史コーナー
 - 21 おしらせ
 - ・府医代議員・予備代議員補欠選挙における候補者について（告示）
 - ・府医代議員・予備代議員補欠選挙における当選人について（告示）
 - ・地区選挙管理委員・予備選挙管理委員の辞任・就任について（公示）
 - ・子育て医師の会の開催について
 - ・京都府医師会主催「第 17 回指導医のための教育ワークショップ」
参加者募集
 - 27 会員消息
 - 29 理事会だより
-

付 録

■ 保険だより

- 1 麻薬新免許証の交付について
- 2 新型コロナウイルス感染症に係る検査を行政検査として委託契約を行った医療機関の診療報酬請求について
- 3 新型コロナウイルス核酸検出検査に係るQ&Aについて
- 4 外国人患者受入れ体制整備支援オンラインセミナーの開催について
- 4 健康保険組合の主たる事務所の所在地変更にもなう保険者番号の設定について

■ 地域医療部通信

- 1 京都府立医科大学附属病院からのお知らせ
第10回地域連携カンファレンス開催のご案内（当番診療科：膠原病・リウマチ・アレルギー科）
- 3 産業保健研修会のご案内（12月・1月）のご案内
- 5 京都府立医科大学附属病院からのお知らせ
「地域連携の集い」開催のご案内―地域全体が集結する医療のために―
- 7 かかりつけ医・産業医等うつ病対応力向上研修会
- 9 京都府立医科大学附属病院からのお知らせ
第11回地域連携カンファレンス開催のご案内（当番診療科：脳神経外科）

■ 京都市（乙訓2市1町）病院群輪番編成表

■ 介護保険ニュース

- 1 新型コロナウイルス感染症に係る介護サービス事業所の人員基準等の臨時的な取り扱いについて（第16報）

京都府・医師会 京都検査センターからの お知らせ

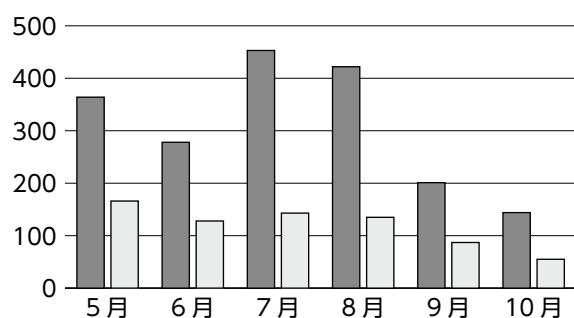
「京都府・医師会 京都検査センター」（以下、「府医検査センター」という）の10月末現在の状況についてお知らせいたします。申し込み件数の総数は1,875件、検査実施1,650件（キャンセル・未実施等を除く）となっております。世界的には感染者累計が4,586万人（11.1現在）となり死

者は119万人超となっております。日本国内の感染者は10万超、死亡者は1,761人（10.29現在）となっております。

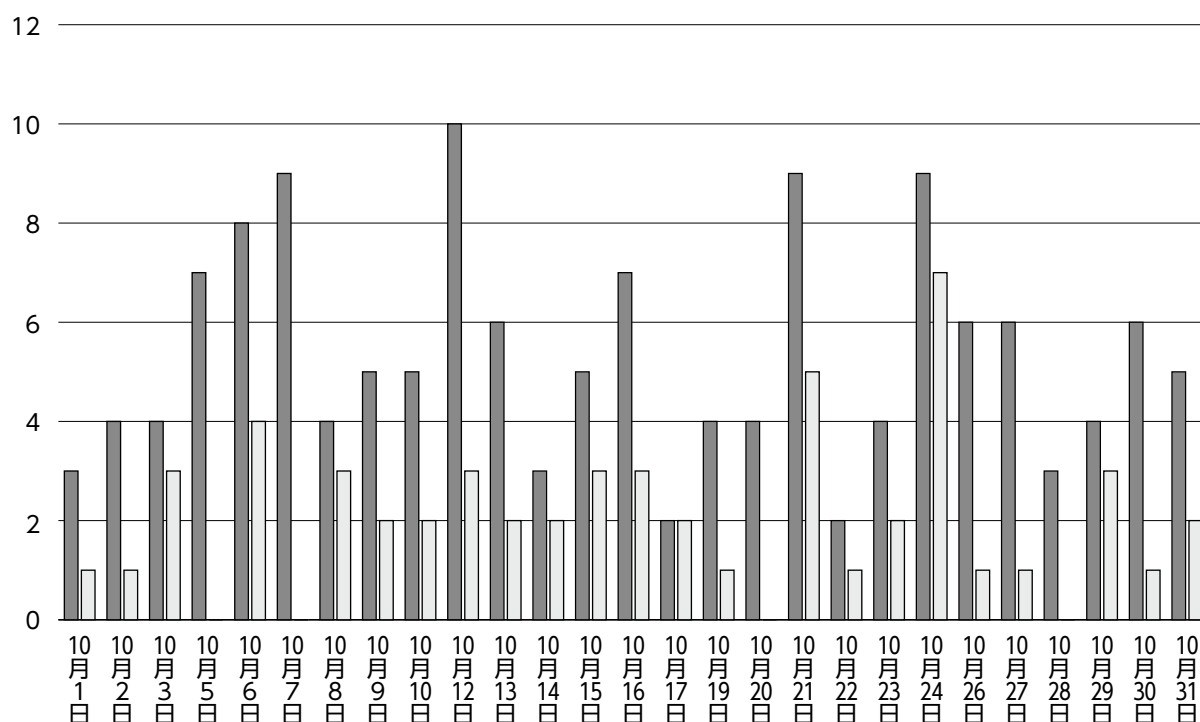
10月の府医検査センターにおける検査の状況は申し込み件数144件（内妊婦は55件）、検査実施135件（内妊婦は51件）となっております。陽性者は3件で陽性率は2.2%でした。

10月の検査申し込み内容を分析すると、月別の申し込み数は7月をピークに減少傾向が続いており、日別に月間を通して検査数が10件以内に収まっています。年代別では妊婦を除くと10代から60代まではほぼ万遍なく検査を実施していることが見て取れます。男女別に分類すると30代、40代、50代において男性が女性に比べ多い傾向があります。

月別（5月～10月）申込数（総数・妊婦）



10月の日別申込数（総数・妊婦）

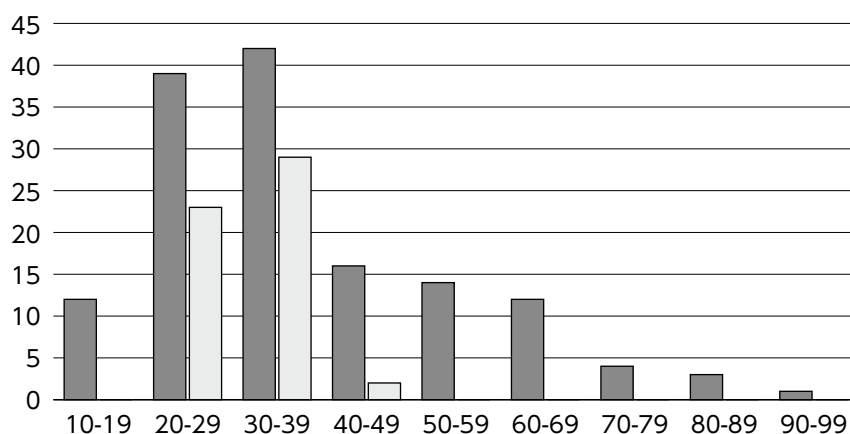


府医検査センターにおける10月末日までの陽性者累計は44件です。月別では5月(2)、6月(1)、7月(11)、8月(24)、9月(3)、10月(3)となっています。

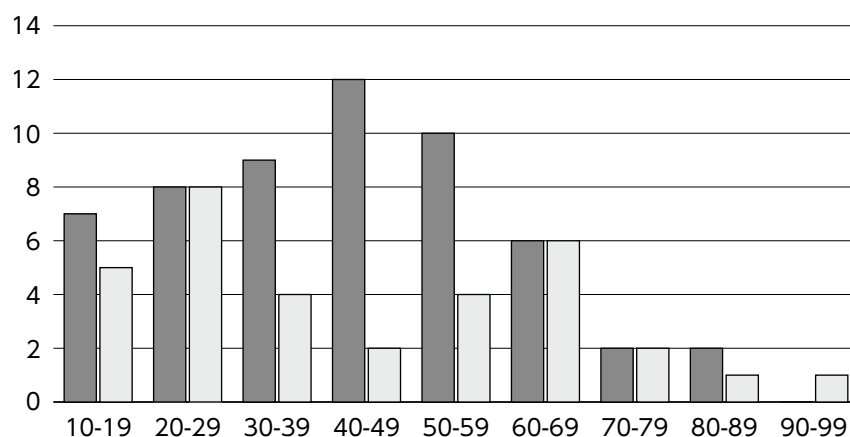
PCR検査の集合契約や診療・検査医療機関の

お申し出により会員各位には大変ご負担をおかけしております。いよいよ寒くなる時期を迎え、インフルエンザの流行等の心配もございますが、これからも府医検査センターをご活用いただいてご診療にお役立ていただきますと幸いです。

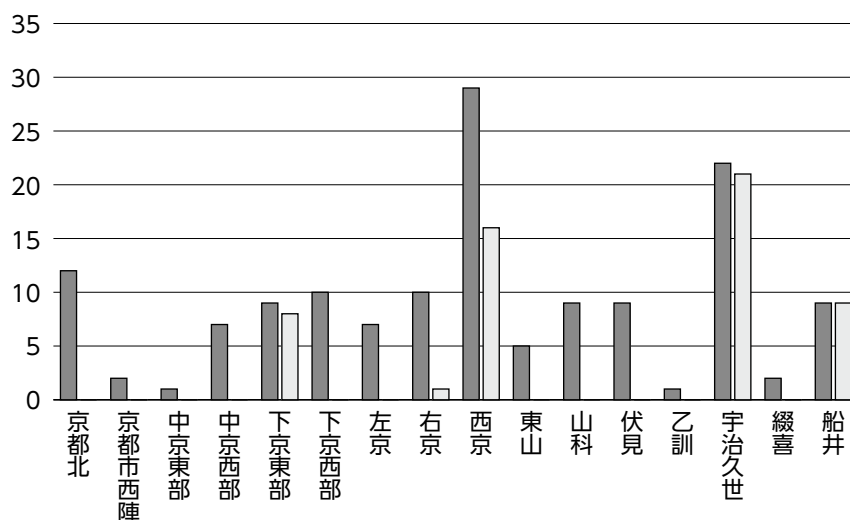
10月の 年代別申込数 (総数・妊婦)



10月の 年代別・男女別申込数 (妊婦を除く)



10月の 地区別申込数 (総数・妊婦)



第46回京都医学会をWeb開催

今年46回目となる京都医学会は、新型コロナウイルス（COVID-19）感染症の情勢を鑑み、全プログラムをWeb開催した。

学会のWeb開催は府医にとって初めての試みであったが、新たな生涯教育研修の形態としての可能性を感じるよい機会となった。

令和2年、新型コロナ禍は人と人の繋がりを翻弄し社会に塗炭之苦をもたらした。第46回京都医学会もまた多大な影響を受け企画の段階から紆余曲折、史上初めての虚空間でのWeb開催となった。反省点は多々あるが、ネット社会の進歩と諸氏のご尽力のおかげで内容は今までと遜色がないものに仕上がったと思う。この場をお借りしてお骨折りいただいた関係各位に心から御礼申し上げる次第である。無論実際の学会場での熱い討論に参加できない寂しさは極めて大きいものの、天候にも左右されず何処からでも比較的自由なタイミングで参加できるというメリットは大きいと前向きに捉えたい。

さて今年の特別演題は『消化器外科領域におけるロボット手術の最前線』というテーマで藤田医科大学・総合消化器外科主任教授の宇山一朗先生にお話を賜り、シンポジウムは『がんゲノム医療の現状と展望～府内の連携体制と医療倫理について～』というタイトルで京都大学腫瘍薬物治療学教授 武藤学先生を総括者に同医療倫理学・遺伝医療学教授 小杉真司先生、京都桂病院腫瘍内科 山口大介先生という豪華顔ぶれで討論が交わされた。会員の皆様が後で視聴しなおしてさらに理解が深まるよう約1か月間アクセスできるように設定させていただいたがご活用いただけたかどうか。残念ながら当日の参加（視聴数）は例年に及ばなかった。これは告知方法が不十分であったかと次回に向けて深く反省する点である。

一般演題

今回、一般演題は広く府内から57題の応募をいただいた。残念ながら例年よりかなり少ない演題数であったのは従来と違いコンピューターを介しての申し込みが故だったのか遣る瀬ない気持ちである。内容としては循環器系、消化器系、内分泌・代謝系、呼吸器系、血液研、免疫・アレルギー系、腎尿路系、産婦人科系、耳鼻咽喉科系、運動器系、皮膚・形成外科系、在宅医療、医療連携、その他に加え、初期研修医セッションを新たに設け、賞を新設した。この初期研修医のセッションは9題の応募をいただき希な症例報告だけではなく海外の医療情報共有の話題もあり楽しむことが



一般演題 視聴ページ

できた。これを切掛けに勤務医の先生方が府医に入会していただければと願う。賞の授与については Web 開催でもあり盛り上がりには欠けることは否めないが、最終結果が視聴いただいた先生方の心にある順位と近いもので有れかしと想う。

さて来年はどうであろう。新型コロナが収束し来年の医学会が通常開催できることを祈るが、依然として Web 開催を強いられるのか否か。今後、学術・生涯教育委員会での振り返りを通して次回開催方法の検討を重ねていきたい。来年も多数のご参加を仰ぎたい。
(高橋 滋 記)

特別講演

『消化器外科領域における

ロボット手術の最前線』

藤田医科大学 総合消化器外科学講座 主任教授
宇山 一郎 氏

20 世紀は医学史の中でも外科の世紀とされ、その進歩により多くの命が救われた時代であった。技術は歩みを止めることなく 21 世紀に入りロボット支援手術が登場した。なかでも ZEUS と da Vinci が承認され、後者のみ生産が続き世界的に普及している。一方日本でも国産の hinotori が新たに承認されたところであり、今世紀がロボットの世紀と評される日が来そうな勢いである。ロボット支援手術が従来の腹腔鏡手術に比べ優れた点は高精細画像で立体視できる、手の震えが伝わらない、2 軸により人の手の入らない場所での自由な操作が直感的に行いうるという 3 点である。これに加えて近年改良を施し触感が伝わらないという欠点についても解決しつつあるという。今後は様々なセンサー技術の改良、AI の進



宇山 一郎 先生

歩とともに整形外科や心臓血管外科手術に広がっていくことが予想される。ただし保険収載されたものの病院にとっては大変な維持費がかかるのは大きな欠点である。このような流れの中で今回はリクエストの多かった『消化器外科領域における



座長・高橋 滋 先生

ロボット手術の最前線』というテーマで藤田医科大学総合消化器外科学講座主任教授の宇山一郎先生にお話を伺うことができた。

宇山先生は『当初は腹腔鏡補助下手術による術創を最小限にすることが低侵襲になると考えていました。しかし理想の手術を追求するうちに合併症を無くすことが予後に直結すると考えるようになり、da Vinci を日本で初めて導入することを決意したのです。使いこなすことにより胃癌では進行度Ⅱまでの根治切除例でリンパ節郭清にともなう脾液瘻を腹腔鏡手術の 2.7% からロボット手術で 0.8% まで減らすことができました。また食道癌では反回神経周囲の郭清で誤嚥性肺炎を来し予後が悪くなるという日本のデータベースを基に、その原因はパワーデバイスによる熱損傷ではなく神経そのものを緊張させたためと考えました。そこで NIM（刺激法）を併用するロボット手術により反回神経に可能な限り触れないことで劇的に合併症を軽減できたのです。これらの結果として術式の保険収載に至りました。技術を広めるために昨年篤志献体を使わせていただいたトレーニングセンターを開設させていただきました。今後はさらに費用対効果のある手術を開発していこうと考えています。』とロボット支援手術の優位性と将来の展望について語られた。今後もロボット支援手術の第一人者としての益々の活躍が期待される宇山先生の講演は大変貴重なもので会員諸氏の知見を深めるのに役立ったと思う。

(高橋 滋 記)

シンポジウム

「がんゲノム医療の現状と展望 ～府内の連携体制と医療倫理について」

がんは遺伝子（ゲノム）の異常でおきる病気と言われている。2019年6月に次世代シーケンサー（NGS）を用いた2つのがん遺伝子パネル検査（OncoGuideNCC オンコパネル、FoundationOneCDx）が保険収載された。本シンポジウムはがんゲノム医療の現状と課題について



武藤 学 先生

会員の先生がたに情報提供することを目的として企画された。総括者は京都大学大学院医学研究科腫瘍薬物治療学講座教授の武藤学先生が担当された。

最初に武藤先生から「保険診療下でのがんゲノム医療と課題」についての講演があった。遺伝子パネル検査

が保険適応となるのは、標準治療のない固形がん（特に原発不明がん、希少がん）や、標準治療が終了した、あるいは終了が見込まれる固形がんとなっている。しかしながら検査をしても治療に結びつくのは10%程度であり、そのほとんどが自費診療になること、また標準治療が効かなくなった患者さんは状態が非常に悪い場合が多く、検査を行って治療までたどりつけるのかという問題があると述べられた。諸外国では初回から検査が可能となっているが、京都大学で初回診断時にパネル検査を行った場合、消化器系のがんでの検討では23%の患者に何らかの薬剤の提供ができることがわかったという。約4分の1の患者さんに、初回治療として標準治療ではなく、その人に合った治療ができる可能性があり、何らかの制度改革が必要ではないかと提起された。最後に、遺伝子パネル検査の診療報酬は56,000点であるが、検査を申し込んだ時に8,000点、エキスパートパネルを行って患者さんに説明した場合に4万8,000

点が算定できることになっている。京都大学では患者さんに説明できるまでに約1ヶ月半かかっており、それまでに病状が悪化して説明できなかったケースが約3%あるとのこと、これらは病院の持ち出しになってしまうことから診療報酬上の問題についても言及された。

京都大学大学院医学研究科医療倫理学・遺伝医療学教授の小杉眞司先生は「がんゲノム医療と遺伝医療の連携」との題

で、検査結果の二次的所見としての遺伝性腫瘍の問題について講演され、代表的な遺伝性腫瘍として遺伝子乳がん・卵巣がん症候群を取り上げられた。また一連の過程で重要な役割を担っている認定遺伝子カウンセラーの職務についても紹介された。

パネル検査を実施するにあたっては、家族等の同伴者に検査前説明を一緒に聞いてもらうことが望ましいこと、数%の確率で二次的所見が見出される可能性があり、それが本人のみならず血縁者にも影響を与えうることを説明すること、二次的所見に関する事前説明は本来の検査目的の説明とバランスに配慮して行うこと、検査前に二次的所見について開示希望の確認をすること、二次的所見が家族の健康管理に役立つ可能性がある場合、結果を伝えたい家族を同意書に記載してもらうことが重要であると話された。

京都桂病院腫瘍内科医長の山口大介先生は「一般市中病院におけるがんゲノム医療の現況と問題点」について講演

された。京都桂病院は京都大学と連携する「がんゲノム医療連携病院」に指定されている。遺伝子パネル検査については、検査説明、申し込み、京大病院とのエキスパートパネル



小杉 眞司 先生



山口 大介 先生

参加，検査結果説明まですべて腫瘍内科が一括して行っており，常勤の遺伝子カウンセラーも配置されているとのことであった。これまで12例の検査が行われ，治療関連遺伝子は11例（91.7%）に認めたが，治療に到達できたのは3例（25%）で，これらはすべて治療効果があったと報告された。二次的所見は2例（16.7%）に認められ，遺伝カウンセリングが行われている。現在の問題点として，データ登録，エキスパートパネルの準備，二次的所見への対応などかなりの手間を要するため多職種連携による対応が必要であること，治療関連遺伝子が見つかっていても治療到達可能性が低く，治療も保険診療外になってしまうこと，シーケンスを成功させるためには品質の高い検体採取が不可欠であり，それにはLiquid Biopsyが有用であるが，本邦では未だ保険収載になっていないことをあげられた。

総合討論では，武藤先生からがんゲノム医療の府内の連携体制についての現状報告の後，「がんゲノム医療に期待すること」，「がんゲノム医療に関わる人材育成について」，「保険外診療の問題」，さらに「がん医療は我が国に根付くのか」について演者間で活発な討論がなされた。がんゲノム医療については遺伝子を調べて，それに合った治療を行うという程度の知識しかなかったが，本シンポジウムを拝聴して，現場のご苦労や様々な問題点について理解を深めることができた。ご講演いただいた3名の先生がたに感謝申し上げます。

（西村俊一郎 記）



ディスカッション

学術賞・学術研鑽賞の表彰

令和2年度学術賞および学術研鑽賞の表彰者は京都医学会ホームページ上で発表した。

府医学術賞は過去1年間に「京都医学会雑誌」に掲載された一般応募論文の中から，学術・生涯教育委員会委員と勤務医部会正副幹事長の投票によって選定された論文に授与されるものである。1位論文1編に30万円，2位論文1編に20万円，3位論文2編に10万円，症例報告賞2編に10万円，新人賞3編に5万円の賞金と賞状が授与された。

学術研鑽賞は前年度中に学術講演会等に率先して出席し，日医生涯教育講座の取得単位数の多い会員を表彰するもので，京都市内および乙訓・宇治久世会員は60単位以上，亀岡市，南部（綴喜・相楽），北部（船井・綾部・福知山・舞鶴・与謝・北丹）地区会員は30単位以上の取得者を対象とし，京都市内・乙訓・宇治久世より56名，亀岡市より4名，北部より28名，南部より16名の計104名が選ばれた。

学術賞および学術研鑽賞の受賞者は以下のとおり。（敬称略）

学術賞

原著論文賞 1位

◆「京都府の医療的ケア児実数調査からみた

病診連携の課題」

代表：はせがわ小児科 長谷川 功

藤田 克寿，石丸 庸介，吉岡 博，
高屋 和志，有本 晃子，徳永 修，
中井 茂，堀部 勉，十一 英子，
辻 幸子，河井 昌彦，吉田 路子，
桑原 仁美，松田 義和，北川 靖

原著論文賞 2位

◆「高齢者の睡眠障害とその対応について」

代表：大森医院 大森 浩二

原著論文賞 3位

◆「高齢化社会における急性胆嚢炎の治療戦略 ～抗菌薬適正使用を含めた検討～」

代表：市立福知山市民病院 消化器内科

原 祐
岡 浩平, 岩井 直人, 稲田 裕,
辻 俊史, 奥田 隆史, 小牧 稔之,
香川 恵造

◆「MCT（中鎖脂肪酸）オイル経口投与で観察され た重症認知症中核並びに行動・心理症状の改善効果」

代表：花友いちほら介護老人福祉施設

川西 秀徳
芦澤 菜月, 高橋有紀子, 富林かおり,
滝川 浩二, 堀 晃史, 垣木 憲一

症例報告賞

◆「Lamotrigine 多量内服による急性中毒として 遷延する意識障害と悪性症候群が疑われた一 例」

代表：京都中部総合医療センター 小児科

松村うつき
大内 一孝, 瀬野 真文, 浅妻 正道,
田浦 喜裕, 小田部 修, 伊藤 陽里

◆「外科手術周術期の DOAC 中止期間に発症し た急性脳主幹動脈閉塞に対して血栓回収術を施 行した2例」

代表：康生会武田病院 脳卒中センター

脳神経外科 定政 信猛
稲田 拓, 山名 則和, 滝 和郎

新人賞

◆「伝染性単核症を契機とした 両側同時性顔面神経麻痺の1症例」

代表：京都岡本記念病院

医師臨床研修センター 斉藤 隼一
岡野 博之

◆「巨大食道裂孔ヘルニアの心臓圧排によって 閉塞性ショックをきたした1例」

代表：医仁会武田総合病院 総合診療科

大前 凌
土井 哲也, 堤 惟, 大石 健,
武田 拓磨, 森村 光貴, 中前恵一郎,
松原 英俊, 杉江 亮, 野村 幸哉,
藤田 益嗣, 中谷 壽男

◆「ビスホスホネート製剤を18年間服用後に 大腿骨転子下非定型骨折を来した一例」

代表：京都桂病院 整形外科 室谷 好紀

原田 豪人, 冨永 智大, 片岡 正尚,
奥谷 祐希, 藤田 裕

学術研鑽賞

京都市内・乙訓・宇治久世

森島 正樹 (中 西), 八木 晴夫 (宇 久)
中川 卓雄 (伏 見), 金山 政喜 (山 科)
川西 秀徳 (左 京), 竹中 健 (西 陣)
笹部 恒敏 (西 京), 倉田 正 (下 西)
岡江 俊二 (右 京), 青木 繁明 (下 東)
松田 恒知 (宇 久), 杉原みどり (西 陣)
金井塚敏弘 (中 西), 藤原 俊成 (中 西)
上田 通章 (宇 久), 内藤 元康 (東 山)
野見山世司 (中 西), 舟木 亮 (西 陣)
坂東 一彦 (伏 見), 佐々木善二 (伏 見)
高橋 守 (西 陣), 田中 進治 (中 西)
松田 辰雄 (下 西), 井上 治 (下 西)
野浦 素 (伏 見), 島田 正 (宇 久)
藤井 崇知 (宇 久), 金 泰希 (左 京)
平田 俊幸 (西 陣), 徳岡 武夫 (宇 久)
目片 秀祀 (伏 見), 伊藤 照明 (右 京)
紀田 康雄 (宇 久), 藤田 祝子 (下 西)
荒垣 晨二 (下 西), 岸田 進 (伏 見)
角水 正道 (乙 訓), 福州 修 (右 京)
伝 俊秋 (左 京), 西川 昌之 (左 京)
藤森 千尋 (伏 見), 丸山 恭平 (宇 久)
岡崎 仁志 (下 西), 柴垣 一夫 (中 西)
木村 繁男 (下 西), 嶋田 裕 (左 京)

八田 隆志(西 陣), 角谷 真二(下 西)
 鎌野 孝和(西 京), 稲掛 英男(西 京)
 景山 精二(右 京), 関 透(下 西)
 十倉 孝臣(左 京), 濱田 春樹(京都北)
 吉岡 秀幸(中 西), 西川 昌樹(伏 見)

亀岡市

村上 貞次(亀岡市), 河辺 泰徳(亀岡市)
 十倉 佳史(亀岡市), 中川 裕隆(亀岡市)

北部(船井・綾部・福知山・舞鶴・与謝・北丹)

肥後 孝(舞 鶴), 西原 寛(与 謝)
 牧野 吉秀(福知山), 大槻 匠(綾 部)
 中江 龍仁(北 丹), 西村 茂(福知山)
 木村 茂(船 井), 瀬古 敬(北 丹)
 上田 誠(北 丹), 宮地 高弘(与 謝)
 渡邊 一郎(舞 鶴), 齊藤 治人(北 丹)
 富阪 静子(福知山), 高塚光二郎(舞 鶴)

大西 勇人(福知山), 味見 真弓(与 謝)
 大久保茂樹(綾 部), 稲葉 弘二(福知山)
 岡所 明良(与 謝), 伊藤 邦彦(与 謝)
 岩破 康二(与 謝), 松山 徹(福知山)
 石井 靖隆(与 謝), 西垣 哲哉(福知山)
 竹下 一成(福知山), 飯田 泰成(北 丹)
 木村 進(与 謝), 大西 克実(舞 鶴)

南部(綴喜・相楽)

高橋 宏(綴 喜), 飯田 泰啓(相 楽)
 田路 吉朗(相 楽), 三好 雅美(綴 喜)
 藤川 正代(相 楽), 飯田 泰子(相 楽)
 山口 泰司(相 楽), 吉村 陽(相 楽)
 河村 允(相 楽), 安積 正作(綴 喜)
 西村 完生(綴 喜), 安積 裕美(綴 喜)
 岸田 秀樹(相 楽), 小出 操子(相 楽)
 桑原 洋史(相 楽), 柳澤 衛(相 楽)

救急蘇生訓練人形等の貸出について

府医では、地区医・京都市消防局・京都府各消防本部の協力により、救急蘇生訓練の啓発を推進しております。

下記の救急蘇生訓練人形等について、医療機関内または地域での救急講習会等で会員の皆様にご利用いただきたく存じますので、貸し出しご希望の方は、事前に府医地域医療一課救急係(TEL 075-354-6109)までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

・救急蘇生訓練人形(成人用)[人工呼吸・心マッサージ可]	3 体
・救急蘇生訓練人形(小児用)[人工呼吸・心マッサージ可]	2 体
・救急蘇生訓練人形(乳児用)[人工呼吸・心マッサージ可]	2 体
・救急蘇生訓練人形(成人用上半身)[人工呼吸・心マッサージ可]	5 体
・気道管理トレーナー	1 台
・AED(自動体外式除細動器)トレーニングユニット[訓練用]	2 台

「コロナ禍での開業医の対応」 について議論

綾部医師会と府医執行部との懇談会が9月12日(土)、Webで開催され、綾部医師会から8名、府医から8名が出席。「コロナ禍での開業医の対応について」をテーマに活発な議論が行われた。



コロナ禍での開業医の対応について

新型コロナウイルス感染症における医療機関の対応については、症状の有無によらず予約外の患者については、事前に電話してから受診するよう周知することを原則とする。これはおそらくインフルエンザ流行期にも有効である。

また、院内における感染防止のための設備と対策については、受付のカウンター上に待合室と仕切る透明ビニールを垂らすかアクリルのパーティションを置く、換気を徹底する、患者が触れやす

いドアノブ・便座・流しハンドルなどは定期的に清拭する等、対応に取り組むことが有効である。

コロナが疑わしい患者への対応については、付き添い家族等に対する検温を実施し、疑わしい患者は、テントや車両等、可能な限り隔離した上で診療を実施することが望ましい。しかし、十分な隔離設備を有する診療所は少ないため、患者の車内での検査や一般患者と時間を分ける等の工夫が必要である。また、隔離が難しい場合は、他の医療機関へ受入れを要請する必要があるため、各地区で受け入れ体制について協議する必要がある。

患者に咳嗽等呼吸器症状を認めるときは、医療

従事者はサージカルマスクとアイゴーグルを着用し、本人にもマスクを着用させる。患者が着用するマスクは、布マスクでも、周囲に拡散させる飛沫の量と距離を大幅に減らすことが期待できる。

なお、新型コロナウイルス感染症外来診療ガイドには、キャップの装着は必須ではないと記載されているが、女性看護師は髪を触る機会が多く、感染原因になりやすいため、女性看護師にはキャップの装着も望ましい。

最後に、環境消毒方法について、環境消毒を行うスタッフは、グローブ・サージカルマスク・ガウン・アイゴーグルを着用する。特にグローブとサージカルマスクは必須である。

消毒については、アルコール、界面活性剤のある石鹼で不活化できる。なお、0.05%以上の濃度がある次亜塩素酸ナトリウム水溶液でも代用できるが、金属への腐食や脱色があり、少し使いにくい。近年、北里大学による研究結果によれば、次亜塩素酸ナトリウムで消毒するためには、大量に散布した後、しばらく放置してから拭き取らなければ効果がないため、現実的ではない。

地区からの意見・質問

◇ インフルエンザなどの検査のため検体を採取する際に、新型コロナウイルスに感染する可能性があるため、検査をせずに臨床診断によって治療薬を処方するよう求める日医からの通知についてインフルエンザも検査して除外しなければ、判断で困ることがあるため、鼻咽頭のぬぐい液による検査が必要ではないかとの質問が出された。

日医の通知が出された時期は、コロナ流行期で医療物資が不足していたため、今後は対応を

変える必要性も考えられる。

また、実際にインフルエンザの検査を行う際、通常、スワブで鼻咽頭のぬぐい液を採取することが多い。迅速診断キットの種類にもよるが、添付文書には、鼻腔ぬぐい液、鼻咽頭ぬぐい液、鼻かみ液、鼻汁採取液の4種類による検査ができるとの記載がある。このことから、多少はエアロゾルが発生しにくく、横からスワブで鼻腔ぬぐい液を採取すれば、感染のリスクが抑えられる。

さらに、鼻腔での採取の場合、サージカルマスクと手袋、目の保護があれば十分に感染を防止できるとの日本感染症学会の見解を示している。

なお、現在、新型コロナウイルスとインフルエンザを同時に検査できるキットが実用に向けて検討が進められており、同キットは同一の容器でインフルエンザも検出できるため、今後、期待できるといえる。

また、次のインフルエンザ流行に備えた体制整備が進められている。コロナの場合は帰国者・接触者相談センターで発熱した患者が相談して検査を受けることが全国的な仕組みだったが、かかりつけ医で診察する体制に変更するよう厚労省から通知があったため、京都でも取り急ぎ、10月中旬から対応できるよう動き出している。

現状に応じてコロナとインフルエンザの両方に対応する必要があるため、府医としても地域ごとに対応できるよう情報提供に努めていく。

◇ 医師自身が発熱した場合の対応について質問が出された。

休業してコロナのPCR検査を実施する。万が一、陽性だった場合は、濃厚接触者の疑いがある従業員も含めて管轄保健所に報告する。

**令和 2 年度
社会保険診療報酬支払基金関係功績者
厚生労働大臣表彰**

佐々木 義行 氏（左京）が受賞

この度、佐々木義行氏（左京）が社会保険診療報酬支払基金関係功績者厚生労働大臣表彰を受賞されました。

先生のご受賞を心からお喜び申し上げますとともに、今後ますますのご活躍を祈念いたします。

**令和 2 年度
国民健康保険関係功績者厚生労働大臣表彰**

山下 直己 氏（西京）が受賞

この度、山下直己氏（西京）が国民健康保険関係功績者厚生労働大臣表彰を受賞されました。

先生のご受賞を心からお喜び申し上げますとともに、今後ますますのご活躍を祈念いたします。

京都医報が スマートフォン、タブレットで 快適に閲覧できるようになりました。

印刷物やホームページでの掲載にて読んでいただいていた「京都医報」が、スマートフォン、タブレットで配信開始いたします。

最新号はもちろんのこと、バックナンバーもすぐに検索可能です。それぞれの端末に合わせてレイアウトが切り替わるレスポンス機能を採用していますので、ストレスなく閲覧していただけます。

同封の設定方法、操作方法パンフレットをご参照いただき、ぜひホーム画面にアイコン設定して毎号ご覧ください。

尚、閲覧にはベーシック認証のIDとパスワードが必要です。同封の設定方法、操作方法パンフレットに記載しておりますのでご確認の上ログインをお願いいたします。ログイン用のIDとパスワードは1年間で変更いたします。毎年、京都医報7月15日号にて変更IDとパスワードをお知らせいたしますので、ご確認ください。

各号トップ画面

- コンテンツ一覧からそれぞれの記事に移動

検索機能

- 一致するキーワードを含む記事を検索できます。バックナンバーを含めた全文検索が可能となっています。

関連記事表示機能

- 高度なアルゴリズムを使用して記事の関連性を判断できる機能を搭載しています。記事の下部に関連性の高い記事を自動で表示します。



トップ画面



記事画面

第 323 回 京都整形外科医会

とき：9月26日(土) ところ：ANA クラウンプラザホテル京都

「変形性膝関節症に対する関節温存の試み」

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科運動器外科学分野 古賀 英之 氏

設問 1 半月板の逸脱とは。

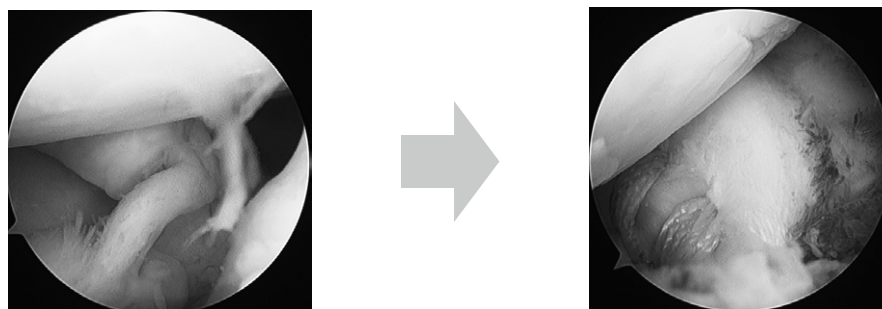
解答 1 半月板が外方に転位する状態であり，hoop 機能の破綻を示唆し，半月板の荷重分散機能が低下することから，軟骨変性を促進し，OA の進行と強く相関する。



設問 2 内側半月板後根断裂の病態と治療は。

解答 2 中高年，軽微な外傷をきっかけとして疼痛，腫脹が継続，しばしば急激に OA の進行をきたす。

上記症状をきたした際には MRI をとり，後根断裂を認めた場合には早期の手術が必要。手術は強固な修復術，および内反アラインメント症例では，高位脛骨骨切り術を併用する。



京都府医師会 会費減免についてのお知らせ

京都府医師会では，傷病，不慮の災害，産前・産後休暇・育児休業，その他特別の事由による，会費減免制度がございます。

詳細については府医・経理課（075-354-6103）までお問い合わせください。

医療事故調査制度『相談窓口』のお知らせ

平成 26 年 6 月の医療法の一部改正により平成 27 年 10 月 1 日から「医療事故調査制度」が施行されています。今回の制度においては①医療事故の判断②院内医療事故調査委員会の実施③支援センターへの報告④遺族への説明等、管理者としての判断・責任が非常に大きくなっています。また、中立性、公平性の担保という観点からも、外部からの支援を受けることが求められています。

各医療機関におかれましては、万が一、対象となる死亡事案が発生した際には、適切な対応をお願いするとともに、京都府医療事故調査等支援団体連絡協議会（窓口：府医）にご相談ください。

府医では、医療機関における『初期対応マニュアル（第 4 版）』『初期対応チェックリスト』を作成していますので、是非、ご活用ください（京都府医療事故調査等支援団体連絡協議会 WEB サイトよりダウンロードできます）。

医療事故調査・支援センター

（一社）日本医療安全調査機構

-
- | | |
|-----------------|---|
| ■ 医療事故 相談専用ダイヤル | 03 - 3434 - 1110 |
| ■ メールアドレス | chuo.anzen@medsafe.or.jp |
| ■ 対応時間 | 24 時間 365 日対応 |
| ■ URL | http://www.medsafe.or.jp/ |

京都府医療事故調査等支援団体連絡協議会

（一社）京都府医師会 医療安全課

-
- | | |
|-----------|---|
| ■ 専用電話 | 075 - 354 - 6355 |
| ■ 対応日時 | 平日 午前 9 時～午後 6 時 土曜日 午前 9 時～午後 1 時
（※休日・夜間については、医療事故調査・支援センターで対応） |
| ■ メールアドレス | jikocho@kyoto.med.or.jp |
| ■ URL | https://www.kyoto.med.or.jp/ma/ |
| ■ 相談内容 | ①制度概要に関する相談
②事故判断への相談
③院内事故調査への技術的支援
(1)外部委員の派遣
(2)報告書作成支援
(3)解剖・Ai 実施支援 |

広報誌『Be Well』のバックナンバー紹介

ご好評をいただいております府医発行の府民・市民向け広報誌『Be Well』につきましては現在 92 号まで発行しております。

右記のバックナンバーにつきましては在庫がございますので必要な方は

府医：総務課
(TEL 075-354-6102)

までご連絡ください。

- 28 号 ▶ 子どもの発熱
- 38 号 ▶ エイズ患者・H I V 感染者
今のままでは増え続けます
- 41 号 ▶ 食育—生涯を通して、健康で
豊かな生活を送るために—
- 42 号 ▶ 男性の更年期障害
- 47 号 ▶ 一酸化炭素中毒
- 54 号 ▶ 子宮がん
- 55 号 ▶ ヒブワクチンと小児用肺炎
球菌ワクチン
- 60 号 ▶ 過敏性腸症候群
- 65 号 ▶ 感染症罹患時の登園（校）
停止基準と登園届
- 66 号 ▶ 前立腺がん検診
- 67 号 ▶ COPD とは？
- 68 号 ▶ 脳卒中
- 69 号 ▶ PM2.5 と呼吸器疾患
- 70 号 ▶ BRCA について
- 73 号 ▶ 不妊症
- 75 号 ▶ 食中毒の予防
- 76 号 ▶ RS ウイルス感染症、ヒトメ
タニューモウイルス感染症
- 77 号 ▶ 性感染症 STI
- 78 号 ▶ コンタクトレンズによる目
の障害
- 79 号 ▶ 肝炎・肝がん
- 80 号 ▶ 難聴
- 81 号 ▶ 爪のトラブル（巻き爪・爪
白癬）
- 82 号 ▶ 脳卒中
- 83 号 ▶ 大人の便秘症
- 84 号 ▶ 熱中症
- 85 号 ▶ 毒虫
- 86 号 ▶ 動脈硬化
- 88 号 ▶ 認知症
- 89 号 ▶ CKD（慢性腎臓病）
- 90 号 ▶ 急性心筋梗塞
- 91 号 ▶ 消化器がんの予防と検診
- 92 号 ▶ 知っておきたいたばこの真
実

京都府医師会

子育てサポートセンター

京都府医師会は、
子育て中の先生方を応援します。



詳細はホームページを
ご覧ください。



当院の尿路感染症症例に対する 抗菌剤指針について

京都府立医科大学附属北部医療センター 泌尿器科
沖原 宏治

最近の勤務医通信を拝読し、新型コロナウイルス感染症対策で、いかにご苦労されておられるかを痛切に感じました。わたくしも同じテーマを最初は念頭にありましたが、同じ感染症におきまして、細菌感染症に焦点をあてて、当院の取り組みをご紹介したいと思います。各勤務医の先生方の専門性にあわせ、例えば、細菌感染症であれば、対象臓器（例えば、肺、胆道、尿路等）の培養結果に準拠して、至適抗菌剤を使用することは、臓器の如何に関わらず標準治療であると思います。ただし、重症化、特に菌血症をとまう重症例の場合、qSOFA、臓器障害評価、ICUに入室すれば、SOFA動向を判定する、いわゆる、敗血症診療ガイドラインに準拠した治療が展開されます。尿路感染症も例外ではなく、shock vital の状況下で、患者をどのように迅速に加療体系を進めていくかが、きわめて重要です。幸い、一時問題となった、MRSA を代表とされる、院内発症敗血症は皆無となり、現在の主流の敗血症性尿路感染症は、市中発症敗血症であります。

ここで大きな分岐点となるのが、1) 尿路閉塞機転の有無を評価し、合併症（特に悪性腫瘍）の状況・予後を勘案した上で、重症化した症例において、閉塞解除の外科的治療を可及的に施行するか？、2) 抗菌剤の選択をどうするか？、

の2点の判定です。1) に関しては、可能な限り、尿路の閉塞解除（特に結石性腎盂腎炎から派生した敗血症）を施行する指針となります。問題は、敗血症性尿路感染症のファーストラインの抗菌剤を、何を選択するかであります。直近のJAID/JSC 感染症治療ガイドラインでは、いわゆるウロセプシスでは、腎排泄型薬剤で抗菌スペクトルが広く、抗菌力に優れているβ-ラクタム系薬やキノロン系薬を推奨されております（AⅡ）。具体的には第3セフェム、カルバペネムなどとなります。私自身当院に赴任するまで、当然のように、上記抗菌剤を選択してまいりました。ガイドラインに準拠しており、個々の症例を対象とした正しい選択であります。ただし、ご存じのように、丹後地域は、長寿圏であり、限られた地域の中で、高頻度に抗菌スペクトルが広い抗菌剤の選択を地域性の配慮もなく継続すると、一定の確率で多剤耐性菌の発生、超高齢者の入院患者に対して、ESBL を代表とされる、院内発症感染症のリスクが高まります。当院では、2013-2014 年に血液培養陽性尿路感染症症例の分離菌ならびに、分離菌に対する薬剤感受性率の分析を行い、次の指針が確定しました。1) 有熱性尿路感染症に対しては、第一選択の抗菌薬を第2世代セフェム系のセフォチアム（CTM）とする。2) 血液培養陽性（菌血症）であっ

た場合には10～14日間の抗菌薬（注射薬）投与を推奨する。3）培養結果が判明すれば感受性のある抗菌薬に変更する（症状や検査所見が明らかに改善している場合にはCTMを継続する）。4）第1世代セフェム系やペニシリン系薬でも感受性が認められた場合には、速やかにde-escalationを行う。

上記4つの指針に対して、後方視的に順守率・尿路閉塞解除の観点からみた転帰・治癒後の尿培養結果のアウトカム（多剤耐性菌の発生の有無）、などの検証が必要です。私が赴任する前からの一貫した指針でありましたので、当院の感染症対策チームと共同で直近4年間の解析（尿路感染に起因する血液培養陽性＋有熱性感染症204例）を行いました。特筆すべき結果として、諸家の報告と比較し、耐性菌検出率が極めて低く（4.9%）、40例の結石性腎盂腎炎において、ドレナージ治療を施行した症例は抗菌剤の種類の如何に関わらず、全例治癒の転帰を得たことでした。指針に関して異論のある先生もいらっしゃるかと推察いたしますが、当院では上記指針を継続していくエビデンスを得ることができたことを、ここにご報告申し上げます。

Information

病 院 名 京都府立医科大学附属北部医療センター
住 所 京都府与謝郡与謝野町字男山481番地
電話番号 0772-46-3371
ホームページ <https://nmc.kpu-m.ac.jp/>

京都府ナースセンター 『e-ナースセンター』 のご紹介

京都府ナースセンター（公益社団法人京都府看護協会）では、看護師、准看護師、助産師の無料職業紹介を行っています。看護職の人材をお探しの医療機関におかれましては『e-ナースセンター』のWEBサイトをご確認ください。なお、紹介にあたっては登録が必要ですが、無料で登録・利用できます。

京都府ナースセンター

T E L : 075-222-0316

F A X : 075-222-0528

e-ナースセンター URL

<https://www.nurse-center.net/nccs/>



京都医学史研究会

医学史コーナー

醫の歴史

— 医師と医学 その18 —

○江戸時代後期の医療（5）

〈本居宣長・晩年と最期の病〉

宣長（1730～1801）は、伊勢松阪の人です。江戸時代中期後半に活躍しました。その生涯70年のうち、30代半ばで5年余り京都に遊学していますが、そのほとんどを松阪で過ごしました。

宣長の一族は、父方母方いずれも本居家・小津家双方が嗣子・養子・猶子を交換しあい（実ハ～ノ子）という（ ）付けの記述が多く、系譜は極めて複雑です。宣長は父・小津定利（小津家5代・実ハ道智ノ次男、4代の養子）と後妻・勝の長男ですが、宣長にも異父母の義兄宗五郎がいます。父・定利は伊勢木綿を扱う豪商で江戸に出店していましたが、宣長が11歳の時、江戸で急死します。母・勝は宣長に商人の道を歩ませるのですが、商売見習や商人の養子に入れてもどれも不首尾に終わります、そのうち跡取りの義兄宗五郎が江戸神田の店で死去、宣長は22歳で家督を継ぐことになります。大店で相応の遺産はありましたが、一生食いつなげる保障もなく、母・勝は宣長を商人の道ではない、いっそ医師の業で生業が立つよう進言し、京都に遊学させました。

宣長は大いに奮起し、宝暦2年3月に松阪を出立、京の綾小路室町で儒学と医学を堀元厚・堀景山・典葉の武川幸順に学びました。宝暦7年10月、5年半の京都での修業を経て松阪に戻り、すぐに医師開業となります。もちろん、宣長の後世に残る業績は京都修業中にめざめた古学・国学の分野で「古事記伝」「玉勝間」「玉くしげ」などの名著がありますが、宣長にとっての「医師」と「学者」の兼務は

家の業 な怠りそ 雅びをの
文は読むとも 歌は詠むとも

と述べていて、医は家業として怠らず日々の生計を支える重要な柱であり、その柱があってこそ己の思い定めた道を究められると語ります、この医師と学者の道は晩年まで並行して続けられ、ことに宣長没前の1年間（71歳～72歳）の活動は目まぐるしく多忙でした。

寛政12年11月から翌13年（享和元年）9月、宣長死去までの1年足らずの活動歴

○寛政12年……。7月に早々と遺言書作成

・11月に松阪・山室山に墓所（奥墓）を定める
・11月20日、紀伊藩主の命で和歌山へ、当所で越年し、翌年3月1日に松阪へ戻る

○寛政13年（享和元年）……。3月28日松阪出立して京都へ、堂上家・宮家に万葉集、源氏物語など講義し6月12日松阪へ帰る。8月16日「鈴屋新撰名目目録」未完だが最期の稿本作成。9月13日月見の歌会「長き夜のひと夜を千夜になすらへて明くれば菊の露も消えにき」と詠う、宣長、今生最後の歌会。9月16日、鈴屋で源氏物語の講義。9月17日、風邪の兆候で鈴屋休講。9月25日、門人に手紙を書く「執筆難渋、痰気強さし起り、食甚少、大いに弱り」と記す

・9月26日～悪化の一途で門人枕元につめる

・9月28日、宣長病床から枕元の門人に挨拶

・9月29日夜なか「眠り給ふ如く果給へり」

・9月29日 享年72歳でした。

宣長は死去13日前に源氏物語の講義をしましたが、翌日の風邪罹患以降、老齢に加えて咳痰発作の持病があり一気に症状が悪化、肺炎を併発して死に至ったと思われます。

（京都医学史研究会 葉山 美知子）



京医選管発第6号
令和2年11月4日

上京東部，中京東部，中京西部，下京東部，
西京，乙訓，相楽，船井地区
選挙人 各位

京都府医師会選挙管理委員会
委員長 松本 任司

府医代議員・予備代議員補欠選挙における候補者について（告示）

令和2年11月15日投票の標記選挙において，府医選挙規定第34条により，候補者を次のとおり告示します。

<代 議 員>

中京東部（1）	新屋 明美			
中京西部（1）	松尾 敏			
下京東部（1）	深江 英一			
西 京（4）	土井たかし	中島 正之	松崎 恒一	曾我部俊介
乙 訓（4）	齊ノ内良平	下尾 和敏	梅山 信	大林 和彦
相 楽（1）	岸田 秀樹			

<予備代議員>

上京東部（1）	稲垣 千絵			
中京東部（3）	俵 良裕	岩間 大輔	鵜飼 恭子	
中京西部（1）	仁志川直裕			
下京東部（1）	前田 眞里			
西 京（4）	福本 和生	立入 久和	公手 修一	坂本 雅史
乙 訓（4）	馬本 郁男	佐藤 真人	繁本 俊哉	菅田 信之
相 楽（1）	山本 浩二			
船 井（1）	山田 智裕			

上京東部，中京東部，中京西部，下京東部，
西京，乙訓，相楽，船井地区
選挙人 各位

京都府医師会選挙管理委員会
委員長 松本 任司

府医代議員・予備代議員補欠選挙における当選人について（告示）

標記選挙における京医選管発第6号にて告示した候補者について、当該選挙の定数を超えなかったため、府医選挙規定第46条により投票を行わず、候補者をもって当選人と定めましたので、告示します。

「京都医報」へのご投稿について

府医では、会員の皆さまから「会員の声」「北山杉」「他山の石」「私の趣味（仮）」「開業医奮闘記」の各種原稿を下記要領にて募集しております。是非ともご投稿ください。

なお、字数は原則として下記のとおりですが、最大でも3000字（医報2ページ分、写真・図表・カット（絵）等を含む）までお願いいたします。原稿の採否は、府医広報委員会の協議により決定します。場合によっては、本文の訂正・加筆、削除、分載等をお願いすることがありますので、あらかじめご了承ください。

また、同じ著者の投稿は原則として1年間に1編とします。

【原稿送付先・お問い合わせ先】

〒604-8585 京都市中京区西ノ京東梅尾町6 京都府医師会総務課「京都医報」係
TEL 075-354-6102 FAX 075-354-6074 e-mail kma26@kyoto.med.or.jp

会員の声 「会員の声」には、医療についての意見、医師会への要望・批判などを1200字程度にまとめてお寄せください。

北山杉 「北山杉」には、紀行文・エッセイなどを1200字程度でお寄せください。

他山の石 これまでに体験した「ヒヤリ・ハット」事例を1200字程度でお寄せください。特別な形式はありませんが、①事例内容 ②発生要因 ③その後の対策等—についてご紹介ください。掲載にあたっては、原則「匿名」とさせていただき、関係者などが特定できない形での掲載となります。

私の趣味 「自転車」「DIY（日曜大工）」「料理」「園芸」「旅行」「映画」「書籍（医学書以外）」「音楽」「演劇鑑賞」「ワイン（酒）」「登山日記」「鉄道」などについてジャンルは問いません。読者に知ってもらいたい、会員の先生方の深い造詣を1200字程度でご披露いただければ幸いです。

開業医奮闘記 日常診療で尽力されている事柄や感じていること、出来事などについてのご投稿をいただくことで、会員の先生方の参考となればと思っております。こちらも1200字程度でお寄せください。

中京東部，西京，乙訓，京都大学地区
選挙人 各位

一般社団法人京都府医師会
会 長 松井 道宣

地区選挙管理委員・予備選挙管理委員の辞任・就任について（公示）

今般，地区選挙管理委員・予備選挙管理委員の交替がありましたので，選挙規定第 18 条により公示します。

<中京東部>

予備委員①	高岡京二郎	→	岩野 正宏
-------	-------	---	-------

<西 京>

委 員 長	志熊 道夫	→	中尾 洋子
委 員	福原 京子	→	緒方 伸好
委 員	河野 明美	→	野々村京子
予備委員①	中尾 洋子	→	秋元 晶子
予備委員②	緒方 伸好	→	中務 克彦
予備委員③	野々村京子	→	栗田 智紀

<乙 訓>

委 員 長	田本 重美	→	森田 聖
委 員	加藤 博文	→	近山 達
予備委員①	石井 洋	→	横関 弘一
予備委員②	福田 登	→	片岡 昭浩
予備委員③	湯山 令輔	→	水野 秀信

<京都大学>

委 員	坂井 義治	→	小川 修
委 員	小池 薫	→	池田 昭夫
予備委員②	池田 昭夫	→	高橋 良輔
予備委員③	小川 修	→	妹尾 浩

子育て医師の会の開催について

府医では子育て支援の一環として、子育て中の医師との交流の場を設けることで、子育てと仕事との両立などの悩みや情報交換を行える機会を提供することを目的に標記交流会を開催することとなりましたので、奮ってご参加ください。

と き 令和2年12月19日(土) 午後1時～午後2時

と ころ WEB 開催

対 象 子育て中の医師または子育てに関心がある医師（大学院生含む）

プログラム

時 間	演 題 名	講 師
13:00	挨拶	京都府医師会 理 事 谷口 洋子
13:05	子育てとキャリア形成・色々なタイプがいても良い！	京都大学医学部附属病院病理診断科 准教授 南口早智子
13:20	質疑応答	
13:25	アメリカ留学体験記 ー出産と子育て in USAー	京都府立医科大学 分子病態病理学 准教授 宍戸由紀子
13:40	質疑応答	
13:45	お悩み相談会(事前アンケートで悩み募集)	南口先生，宍戸先生，谷口理事，府医専属保育士
13:55	子育てサポートセンター紹介タイム	府医専属保育士
14:00	終了	—

お申し込み

下記 URL，QR コードまたは同封しておりますチラシよりお申し込みください。

URL：<https://ssl.formman.com/form/pc/VaWNqFSHGt5XNdnM/>



京都府医師会主催
「第17回指導医のための教育ワークショップ」
参加者募集

と き 令和3年1月23日(土)～24日(日)

と ころ Web開催(一部カリキュラムは府医会館にて集合形式で行う予定)
上記日程と別にe-ラーニングで受講いただくカリキュラムも予定しています

定 員 24名
※応募多数の場合は抽選とさせていただきます。
また、応募人数が12名に達しない場合は開催を中止させていただく場合がございます

申し込み期限 11月27日(金) ※ただし、定員に満たない場合は延長します。

参 加 費 府医会員：20,000円 非会員：25,000円
※託児ルーム開設予定(生後6ヶ月以上～12歳未満、要事前予約)

修 了 証 京都府医師会長、日本医師会長、厚生労働省医政局長連名の修了証書を交付

申 込 先 ご希望の方は、氏名、病院名、役職、診療科、年齢、連絡先を明記の上、下記までご連絡
ください。
京都府医師会 学術生涯研修課 (TEL：075-354-6104 FAX：075-354-6074)

日医生涯教育講座 13単位・11カリキュラムコード(予定)

1. 医師のプロフェッショナルリズム
4. 医師－患者関係とコミュニケーション
5. 心理社会的アプローチ
7. 医療の質と安全
8. 感染対策
10. チーム医療
11. 予防と保健
12. 地域医療
13. 医療と介護および福祉の連携
15. 臨床問題解決のプロセス
0. その他

※カリキュラムコードはプログラムにより変更になる場合がございます。

京都府医師会ホームページを ご利用ください！



府医ホームページでは、府医の活動を会員に迅速に伝達するコンテンツを用意しています。ぜひご活用ください。

府医ホームページ URL <https://www.kyoto.med.or.jp/>

■ 京都医報

<https://www.kyoto.med.or.jp/member/report/index.shtml>

■ 府医トレセン

<https://www.kyoto.med.or.jp/tracen/>

■ 府医在宅医療・地域包括ケアサポートセンター

<http://kyoto-zaitaku-med.or.jp>

新型コロナウイルス（COVID-19）感染症情報は、府医ホームページ「新型コロナウイルス情報」をご覧ください。



● 京都府医師会・会員メーリングリストにご登録ください ●

府医では、会員の先生方の迅速な意見交換、情報交換の場として「府医・会員メーリングリスト」（以下、ML）を運用しております。

MLでは、府医から感染症情報なども適宜発信しております。GmailとPCアドレスなどを複数ご登録いただくことも可能です。すでにご登録いただいている会員の先生方も、スマホやタブレットなどでご確認いただくために、登録アドレスを見直しませんか。下記登録方法にてお申し込みください。

『京都府医師会・会員メーリングリスト利用規約』

<https://www.kyoto.med.or.jp/doctor/ml-kiyaku.pdf>

『京都府医師会・会員メーリングリスト運用ガイドライン』

<https://www.kyoto.med.or.jp/doctor/ml-unyougaido.pdf>

登録方法

以下の申込先フォーム URL よりご登録をお願いいたします。

アドレスは2つまでご登録いただけます。

（パソコン） <https://ssl.formman.com/form/pc/JpJfpmjNSAt4OKE3/>

（携帯） <https://ssl.formman.com/form/i/JpJfpmjNSAt4OKE3/>



上記の方法によりご登録できない場合は、FAXでのお申し込みを受け付けます。

必要事項（①地区医師会名 ②医療機関名 ③氏名 ④メールアドレス）をご記入の上、総務課（FAX：075-354-6074）まで送信してください。

※お申し込みいただいた会員の先生方には、府医事務局においてアドレスを登録し、確認メール（件名：「Welcome to kyoto-med mailing list」）にて、順次、直接通知いたします。

会 員 消 息

(10/ 8, 10/15 定例理事会承認分)

入 会

氏 名	会 員 区 分	地 区	医 療 機 関	診療科目
立入智恵子	A	乙 訓	向日市寺戸町八ノ坪 122 洛西口クリニックビル 3 F 桂川洛西口産婦人科まりこクリニック	産婦
佐々木康綱	B 1	山 科	山科区音羽珍事町 2 洛和会音羽病院	腫内
小田部 修	B 1	宇 久	宇治市六地蔵町並 32 小田部小児科内科医院	児・内
福岡 英記	B 1	中 西	中京区西ノ京小堀池町 18- 1 京都民医連太子道診療所	内
網谷 良一	B 1	綴 喜	八幡市川口別所 61 京都八幡病院	呼内
大橋 翔平	C	府 医 大	上京区河原町通広小路上ル梶井町 465 京都府立医科大学附属病院	研修
小間 淳平	C	中 西	中京区壬生東高田町 1 - 2 京都市立病院	研修
河村 太陽	C	東 山	東山区本町 15 丁目 749 京都第一赤十字病院	研修

異 動

氏 名	会 員 区 分	地 区	医 療 機 関	診療科目
高橋 衛	A → A	下西 → 下西	下京区小坂町 7 - 4 しまばら病院 ※組織変更にとまなう異動	循内
伊林 範裕	A → A	伏見 → 伏見	伏見区淀美豆町 1077 松ヶ崎記念クリニック ※組織変更にとまなう異動	内
多賀 千明	B1 → A	右京 → 右京	右京区太秦森ヶ西町 12- 3 三幸会うずまさクリニック	精・心療
長井 苑子	B1 → A	中東 → 中東	中京区三条通高倉東入榊屋町 58・56 中央診療所	呼内・内・アレ・ リウ
藤井 英子	A → B1	右京 → 右京	右京区太秦森ヶ西町 12- 3 三幸会うずまさクリニック	心療・精
泉 孝英	A → B1	中東 → 中東	中京区三条通高倉東入榊屋町 58・56 中央診療所	内・呼内・アレ
的場 芳樹	B1 → B1	下西 → 下西	下京区小坂町 7 - 4 しまばら病院 ※組織変更にとまなう異動	循内

異 動

氏 名	会員 区分	地 区	医 療 機 関	診療科目
吉田 俊秀	B1→B1	下西→下西	下京区小坂町7-4 しまばら病院 ※組織変更にとまなう異動	糖尿
佐藤 和美	B1→B1	下西→下西	下京区中堂寺庄ノ内町8 京都回生病院	内・消内
大田 高祐	B1→B1	中東→中東	中京区三条通高倉東入栴屋町58・56 中央診療所 ※組織変更にとまなう異動	内・呼内
荻野 俊平	B1→B1	中東→中東	中京区三条通高倉東入栴屋町58・56 中央診療所 ※組織変更にとまなう異動	内・消内・神内
中山 昌彦	B1→B1	中東→中東	中京区三条通高倉東入栴屋町58・56 中央診療所 ※組織変更にとまなう異動	内・呼内・糖尿
前田 道之	B1→B1	中東→中東	中京区三条通高倉東入栴屋町58・56 中央診療所 ※組織変更にとまなう異動	内
松井祐佐公	B1→B1	中東→中東	中京区三条通高倉東入栴屋町58・56 中央診療所 ※組織変更にとまなう異動	内
小寺 勝也	B1→B2	綴喜→府医大	上京区河原町通広小路上ル梶井町465 京都府立医科大学附属病院	リハ
吉田 昭	A→D	船井→船井	—	

※D会員は住所がご自宅となるため、掲載しておりません。

退 会

氏 名	会員 区分	地 区	氏 名	会員 区分	地 区	氏 名	会員 区分	地 区
福井 道彦	B 1	山 科	大野 研而	B 1	右 京	奥 毅公雄	B 1	伏 見
齊ノ内 玲	B 2	府医大						

訃 報

松繁 洋氏／下西地区：第5班／9月28日ご逝去／84歳
謹んでお悔やみ申し上げます。

第24回 定例理事会 (10月8日)

報 告

1. 10月1日現在の会員数
9月1日現在 4,399名 (日医 3,206名)
10月1日現在 4,392名 (日医 3,206名)
2. 夏の参与会の状況

議 事

3. 京都市外部審議会委員等の推薦替えを可決
4. 会員の入会・異動・退会 15件を可決
5. 常任委員会の開催を可決
6. 第6回地区庶務担当理事連絡協議会の開催を可決
7. <京都府栄養士会> 京都府糖尿病重症化予防対策補助事業への講師派遣を可決
8. スポーツ大会への医師派遣を可決
9. 府医大附属病院・府医共催「地域連携の集い」の開催を可決

10. <厚生労働省> 令和2年度第1回医療政策研修会および第1回地域医療構想アドバイザー会議への参加を可決
11. <京都府> 令和2年度「学校と連携した妊娠・出産に関する啓発事業」の受託を可決
12. 日医生涯教育講座の認定を可決
13. 第3回勤務医部会幹事会の開催を可決
14. 令和2年度臨床検査精度管理事業委託契約の締結を可決
15. 看護専門学校専任教員の定年退職ならびに退職給付金の支給を可決
16. 看護専門学校専任教員の定年後再雇用を可決
17. 看護専門学校非常勤講師の退職および退職慰労金の支給を可決

第25回 定例理事会 (10月15日)

報 告

1. 会員の逝去
2. 綾部医師会との懇談会の状況
3. 10月度総務担当部会の状況
4. 融資斡旋の状況
5. <一般社団法人 PHR 普及推進協議会> 第1回 PHR ガイドライン策定会議の状況
6. 第2回近医連保険担当理事連絡協議会の状況
7. 10月度保険医療担当部会の状況
8. 令和2年度地域包括診療加算・地域包括診療料に係るかかりつけ医研修会の状況
9. 10月度基金幹事会の状況
10. 第3回前立腺がん検診委員会の状況
11. 第2回学校検尿事業委員会の状況

12. 令和2年度「こどもの健康週間」行事の状況
13. 産業医研修会の状況
14. 第5回産業保健委員会の状況
15. 10月度地域医療担当部会の状況
16. 地区医会長・地区感染症対策担当理事合同会議の状況
17. 令和2年度「第1回総合診療力向上講座 Web 講習会」の状況
18. 第7回消化器がん検診委員会の状況
19. 第4回がん登録事業委員会の状況
20. 10月度学術・会員業務・養成担当部会の状況
21. 令和2年度第4回近医連常任委員会の状況

議 事

22. 会員の入会・異動・退会 14 件を可決
23. 常任委員会の開催を可決
24. 南部 4 地区医連絡協議会への出席を可決
25. 府医第 206 回定時代議員会の開催を可決
26. 府医第 207 回臨時時代議員会の開催を可決
27. 令和 2 年度京都市介護老人福祉施設協議会「かいごみらいフェス」への後援を可決
28. 令和 2 年度京都府新型コロナウイルス感染症軽症者等宿泊療養医師業務の変更委託契約締結を可決
29. 令和 2 年度かかりつけ医・産業医等うつ病対応力向上研修会の開催を可決
30. 市教委向け「学校等欠席者・感染症情報システム」運用に関する要望書の提出を可決
31. 京都府耳鼻咽喉科学校医会研修会・京都府耳鼻咽喉科専門医会秋期研修会の共催を可決
32. 「くらしと健康展」実行委員会の開催を可決
33. <(公財) 在宅医療助成 勇美記念財団> 令和 2 年度在宅医療関連講師人材養成事業研修会受講者の推薦を可決
34. 急病診療所コピー複合機のリース契約を可決
35. 「京都腎臓・高血圧談話会 DKD Week pre on-line Seminar」への後援を可決
36. 府医学術講演会の開催を可決
37. 日医生涯教育講座の認定を可決
38. 令和 2 年度生涯教育事業（地区医実施分）への共催を可決
39. 令和 2 年度近医連医療安全担当理事連絡協議会への出席を可決
40. 本校除籍者による訴訟案件に係る弁護士費用（着手金）の支払いを可決
41. 第 5 回近医連常任委員会への出席を可決

～ 12月度請求書（11月診療分） 提出期限 ～

- ▷基金 10日(木) 午後5時30分まで
- ▷国保 10日(木) 午後5時まで
- ▷労災 10日(木) 午後5時まで

☆提出期限にかかわらず、お早めにご提出ください。
☆保険だより 9 月 15 日号に半年分の基金・国保の提出期限を掲載していますので併せてご参照ください。

保険だより**— 必 読 —****麻薬新免許証の交付について**

10 月に申請書をご提出いただきました本年の更新対象者（有効期間：令和 2 年（平成 32 年）12 月 31 日）の麻薬免許証交付につきましては、下記のとおり実施いたします。京都市内とそれ以外の府域では、取り扱いが異なりますのでご注意ください。

新免許交付の際は、すでに送付しています**麻薬免許証返納届**（下記留意事項参照）、**旧免許証**、**印鑑（認印）**が必要となりますので、必ずご持参ください。

また、更新の手続きが未だお済みでない方は至急、京都府庁薬務課または所轄保健所まで麻薬免許申請書をご提出くださいますようお願い申し上げます。**免許が失効した際に麻薬の在庫がある場合は不法所持扱いとなりますので十分ご注意ください。**

[返納届の記載に係る留意事項]

- ① 「免許証番号」「免許年月日」欄：令和 2 年（平成 32 年）12 月 31 日まで有効の旧免許証の免許番号、有効期間の開始日を記入
- ② 「免許証返納の年月日」欄：「令和 2 年」と記入
- ③ 「本人住所・続柄・氏名」欄：続柄には「本人」と記入、個人印を押印
記

《京都市内の事業所の方》

◇交付場所 京都府医師会館 6 階 603 会議室

◇交付日時

日 時 (午前 10 時～12 時・ 午後 1 時～4 時)	対 象 地 区
12 月 3 日(木)	左京・右京・西京・山科・伏見
12 月 4 日(金)	北・上東・西陣・中東・中西・下東・下西・東山

※上記 2 日間いずれかにお越しいただければ交付は可能ですが、混雑を避けるため、あらかじめ対象地区を指定しております。指定された日時での受取にご協力ください。

※2 日間とも府庁職員が来館して交付を行いますので、上記時間帯以外の受付はできなくなります。必ず時間内にお越しください。なお、今年度は会場の密を避けるため、受付時間を変更しています。なるべく病院は午前中に、診療所は午後にお越しいただくようご協力をお願いします。

《京都市を除く京都府域の事業所の方》

◇交付場所・交付日時…地域により異なりますので、各保健所にてご確認ください。

京 都 府 健 康 福 祉 部 薬 務 課	〒 602-8570 京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町	075-414-4790
乙 訓 保 健 所	〒 617-0006 向日市上植野町馬立 8	075-933-1241
山 城 北 保 健 所	〒 611-0021 宇治市宇治若森 7-6	0774-21-2198
山 城 南 保 健 所	〒 619-0214 木津川市木津上戸 18-1	0774-72-4302
南 丹 保 健 所	〒 622-0041 南丹市園部町小山東町藤ノ木 21	0771-62-4754
中 丹 西 保 健 所	〒 620-0055 福知山市篠尾新町 1 丁目 91	0773-22-6382
中 丹 東 保 健 所	〒 624-0906 舞鶴市字倉谷 1350-23	0773-75-1156
丹 後 保 健 所	〒 627-8570 京丹後市峰山町丹波 855	0772-62-1361

12 月度請求書(11 月診療分) 提 出 期 限	
▷基金	10 日(木) 午後 5 時 30 分まで
▷国保	10 日(木) 午後 5 時まで
▷労災	10 日(木) 午後 5 時まで
☆提出期限にかかわらず、 お早めにご提出ください。	
☆保険だより 9 月 15 日号に半年 分の基金・国保の提出期限を 掲載していますので併せてご参 照ください。	

新型コロナウイルス感染症に係る検査を行政検査として 委託契約を行った医療機関の診療報酬請求について

行政検査として鼻腔拭い液を検体とする抗原検査（定性）を行った医療機関のレセプト記載例をお知らせします。

- 公費負担者番号（8桁）：医療機関の所在地に応じて、
京都府（京都市を除く）「28260503」、
京都市「28261501」を記載
- 公費負担医療の受給者番号（7桁）：「9999996」を記載
- 患者負担：行政検査として公費対象となるのは抗原検査料，免疫学的検査判断料のみで，初診料等は含まない。初診料等に係る一部負担金は患者の自己負担割合に応じて徴収する。
- 記載例

（1）初診時に鼻腔拭い液を検体とする抗原検査（定性）を実施した場合

算定点数：初診料 288 点，抗原検査料 600 点，免疫学的検査判断料 144 点，鼻腔・咽頭拭い液採取料 5 点

※院内トリージング実施料，時間外加算等は省略

窓口徴収：3割負担 293 点→880 円（744 点分の3割分は公費負担）

公費負担者 番号①	2 8 2 6 1 5 0 1 ※京都市の医療機関の場合	公費負担医療の 受給者番号①	9 9 9 9 9 9 6
--------------	---------------------------------	-------------------	---------------

※主保険の保険者番号，被保険者の記号・番号も必ず記載

傷病名	(1) COVID-19 疑い その他省略				
11 初 診	1 回	288 点	公費分点数	60	SARS-CoV-2 抗原検出 600 × 1
60 検病 查理	3 回	749	744		※検査が必要と判断した医学的根拠を 記載 免疫学的検査判断料 144 × 1 鼻腔・咽頭拭い液採取 5 × 1
療養の 給付	保 險	請 求 点 1,037	※ 決 定 点	一部負担金額 円	
	公費 ①	点 744	点	減額 割(円)免除・支払猶予 円 0	

新型コロナウイルス核酸検出検査に係る Q & A について

◇厚生労働省疑義解釈資料（令和 2 年度診療報酬改定その 38 ～ 40 ／ 10 月 20 日・23 日・27 日付）

【SARS-CoV-2（新型コロナウイルス）核酸検出】

問 1 令和 2 年 3 月 6 日付けで保険適用された SARS-CoV-2（新型コロナウイルス）核酸検出を実施する際に用いるものとして、「体外診断用医薬品のうち、使用目的又は効果として、SARS-CoV-2 の検出（COVID-19 の診断又は診断の補助）を目的として薬事承認又は認証を得ているもの」とあるが、①令和 2 年 10 月 20 日付けで薬事承認された「ID NOW 新型コロナウイルス 2019」（アボット ダイアグノスティクス メディカル株式会社）、②令和 2 年 10 月 23 日付けで薬事承認された「ジーンキューブ HQ SARS-CoV-2」（東洋紡株式会社）、③令和 2 年 10 月 27 日付けで薬事承認された「Takara SARS-CoV-2 ダイレクト PCR 検出キット」（タカラバイオ株式会社）はいつから保険適用となるのか。

(答) ①令和 2 年 10 月 20 日より保険適用となる。
 ②令和 2 年 10 月 23 日より保険適用となる。
 ③令和 2 年 10 月 27 日より保険適用となる。

問 2 令和 2 年 3 月 6 日付けで保険適用された SARS-CoV-2（新型コロナウイルス）核酸検出を実施する際に用いるものとして、「国立感染症研究所が作成した「病原体検出マニュアル 2019-nCoV」に記載されたもの若しくはそれに準じたもの」とあるが、「新型コロナウイルスに関する行政検査の遺伝子検査方法について」（令和 2 年 3 月 18 日厚生労働省健康局結核感染症課事務連絡）において、行政検査等に用いる遺伝子検査方法として示されている、国立感染症研究所のホームページに掲載された「臨床検体を用いた評価結果が取得された 2019-nCoV 遺伝子検査方法について」（厚生労働省健康局結核感染症課・国立感染症研究所）に記載された「AllplexSARS-CoV-2 Assay」（Seegene 社）、「新型コロナウイルス検出キット」（株式会社キュービクス）、「SARS-CoV-2 GeneSoC N2 杏林」（杏林製薬株式会社）、「SARS-CoV-2 RT-qPCR Detection Kit Ver.2」（富士フイルム和光純薬株式会社）及び「新型コロナウイルス RNA 検出試薬 LAMPdirectGenelyzer KIT」（キヤノンメディカルシステムズ株式会社）はこれに該当するか。

(答) 該当する。

外国人患者受入れ体制整備支援 オンラインセミナーの開催について

今般、厚生労働省医政局総務課医療国際展開推進室より標記セミナーの開催について情報提供がありましたのでお知らせします。

本セミナーは、厚生労働省の外国人患者受入に資する医療機関認証制度等推進事業の一環としての取組みであり、医療機関や自治体・地域の関係者向けに、外国人患者受入れ体制整備に関わる基礎的な情報や活用できる参考事例について講演されますのでご活用ください。

■セミナーについて (全 3 回開催)

① 11 月 20 日 (金) 14 時～15 時 【医療機関・自治体・地域の関係者向け】

○テーマ：外国人患者受入れ総論

～「外国人患者の受入れのための医療機関向けマニュアル」のポイント

○講 師：岡村世里奈 先生（国際医療福祉大学大学院医療経営管理分野
（医療通訳・国際医療マネジメント分野兼務）准教授）

② 12 月 8 日 (火) 14 時～15 時 【自治体・地域の関係者向け】

○テーマ：地方自治体における外国人患者受入れ環境整備

○講 師：柴 沼 晃 先生（東京大学大学院医学系研究科国際地域保健学教室 講師）

③ 12 月 23 日 (水) 15 時～16 時 【医療機関関係者向け】

○テーマ：外国人患者受入れ先進医療機関の事例紹介

○講 師：堀 成 美 先生（公益社団法人東京都看護協会危機管理室アドバイザー，
国立研究開発法人国立国際医療研究センター国際診療部 客員研究員）

※受講料は「無料」。オンライン開催（Web 会議システム zoom を使用）

※申し込みは専用お申込みフォーム（<https://forms.gle/KjtxARg5Uwd4Nw2g8>）からお申し込みください。

【申し込み締切日】各回開催日の 2 日前まで。

健康保険組合の主たる事務所の所在地変更にもなう 保険者番号の設定について

下記の健康保険組合の所在地が令和 2 年 11 月 1 日に変更されることにともない、次のとおり保険者番号が設定されることとなりましたのでお知らせします。

記

健康保険組合の名称	くろがね健康保険組合
新 保 険 者 番 号	0 6 2 6 0 7 0 7
新 所 在 地	京都府八幡市岩田南浅地 44
旧 所 在 地	大阪府大阪市西区新町 1 丁目 4 番 24 号
変 更 年 月 日	令和 2 年 11 月 1 日

地域医療部通信

京都府立医科大学附属病院からのお知らせ

第 10 回地域連携カンファレンス開催のご案内
(当番診療科：膠原病・リウマチ・アレルギー科)

京都府立医科大学附属病院では、地域に暮らす人々の健康増進のため、地域の医療機関の皆さまとの連携をさらに強化することを重要な柱としております。そのためには地域の医療機関の皆さまとの「顔の見える関係」が何より重要であると考え、定期的に意見交換会（地域連携カンファレンス）を開催しております。今回は膠原病・リウマチ・アレルギー科が当番診療科として開催いたします。下記のとおりご案内申し上げますので、ぜひともご参加いただけましたら幸いです。なお、今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、Web にて開催させていただきます。

日 時 令和 2 年 11 月 26 日(木) 午後 5 時 30 分～午後 7 時

形 式 Web 開催 (Zoom ミーティング)

担当診療科 膠原病・リウマチ・アレルギー科

内 容

- (1) 開会のあいさつ 川人 豊 病院教授
- (2) ご紹介いただいた症例の経過報告 (3 症例)
- (3) 講演『膠原病疾患のスクリーニングと鑑別』

演者：礒田 有 医員

(ご紹介をいただいていない医療機関の先生方も是非ご参加ください)

対 象 医療関係者 (どの職種の方でも参加可能です。)

参加費 無料

主 催 京都府立医科大学附属病院

後 援 京都府医師会

申込方法は裏面にあります。

ご参加には事前の参加登録が必須です。

事前参加登録

・ウェブによる申し込み

下記にアクセスしてください。

<https://ux.nu/Vzzmx> (大文字小文字区別)

もしくは右記 QR コードよりお申し込みください。⇒

事前参加登録



・メールによる申し込み

以下を入力の上、メールにてお申し込みください。

(送信先: renkei@koto.kpu-m.ac.jp)

表題に「第 10 回地域連携カンファレンス参加申込」と入力ください

<入力項目>

①メールアドレス ②医療機関名 ③住所 ④職種 ⑤氏名(姓・名)

当日の視聴手順

入力されたメールアドレス宛に当日参加用 URL が届きます。

開始時間になりましたらアクセスしてください。(※参加用 URL は renkei@koto.kpu-m.ac.jp より届きます。)

注意事項

- ・一医療機関から複数名参加される場合であっても申し込みは一人ずつをお願いします。
- ・参加申し込み後、1～3 日以内に参加確認メールをお送りします。(土日祝を除く)
※参加確認メールが届かない場合は地域医療連携室までお問い合わせください。
- ・当日までにテスト環境で接続テストを実施いただくことをお勧めしております。

テスト環境 URL <http://zoom.us/test>

テスト環境



申込締め切り

11 月 24 日(火)

お問い合わせ

075-251-5286 (担当: 地域医療連携室 藤本・山本)

産業保健研修会のご案内（12 月・1 月）のご案内

京都産業保健総合支援センターとの共催

お申し込みは、下記（一覧表の下）をご参照ください。

新型コロナウイルスの感染拡大にともない、以下の対応をさせていただきますので、ご了承ください。

- 1) 流行の状況によって、開催を中止する可能性がございます。
- 2) 必ずマスク着用の上、ご参加ください。
- 3) 発熱、風邪症状のある場合、新型コロナウイルス感染者や濃厚接触者と接触したおそれがあり、潜伏期に該当する場合は、参加をお控えください。
- 4) 密を避け、通常より座席間隔を取るため、受講定員を絞らせていただきます。
- 5) 換気を促進するため、扉や窓を開放させていただきます。
- 6) 更新期日の迫った産業医の参加を一部優先させていただきます。
- 7) 他府県からの参加はご遠慮ください。

※以下の研修会は、日医認定産業医研修会として申請中

日時・場所	テーマと概要	定員	講 師
12 月 2 日 (水) 午後 2 時～ 午後 4 時 京都府医師会館 3 階会議室 (JR 二条駅東側)	「作業環境測定方法の改正等について ～個人サンプリング法の導入～」 今般、作業環境測定関係法令（測定基準、評価基準）の改正が進められています。測定方法がどのように変更（追加）され、測定結果をどのように評価し、またどのように活用すればよいのか等について説明します。 生涯（更新） 2 単位	50 名	京都産業保健 総合支援センター 相談員 高田 志郎 氏
12 月 3 日 (木) 午後 2 時～ 午後 4 時 京都府医師会館 3 階会議室 (JR 二条駅東側)	「勤務医のための産業医講座」 ストレスチェック制度や働き方改革など労働環境の変化の中で、産業医に求められる役割は年々重要性を増しています。平成 31 年 2 月には日医認定産業医数は 10 万人を突破し、毎年 2000 人以上が新たに登録されていますが、多くの認定産業医は、臨床業務の傍ら嘱託産業医として活動しています。産業医契約や巡視報告書の作成、面談のポイントなど、これから産業医を始める臨床医に必要な産業医実務の研修会を企画しました。 生涯（専門） 2 単位	50 名	京都産業保健 総合支援センター 相談員 古海 勝彦 氏
12 月 10 日 (木) 午後 2 時～ 午後 4 時 京都府医師会館 2 階会議室 (JR 二条駅東側)	「歯科予防活動について」 歯科の予防（お口を清潔に保つこと）が入院期間の短縮や術後感染の予防に効果があり、医療費の抑制につながると言われています。これらの説明と、今求められている口腔健康管理についてお話をさせていただきます。 生涯（専門） 2 単位	40 名	京都産業保健 総合支援センター 相談員 吉川 洋史 氏
12 月 12 日 (土) 午後 2 時 15 分 ～午後 4 時 45 分 京都府医師会館 3 階会議室 (JR 二条駅東側)	「法律家と精神科医による事例検討会」 参加者の方が抱える現場問題の解決法について、参加者全員で議論したうえで、医と法の両分野のコメンテーターが、専門的見地からコメントを加えます。グループワーク形式による研修会です。 生涯（実地） 2.5 単位	24 名	近畿大学法学部 教授 三柴 文典 氏 京都産業保健 総合支援センター 相談員 杉本 二郎 氏

日時・場所	テーマと概要	定員	講 師
12 月 16 日(水) 午後 2 時～ 午後 4 時 京都府医師会館 3 階会議室 (JR 二条駅東側)	「メンタル不調者のリハビリと復職支援」 産業医による指導は、業務負荷やストレスを抑制する方向に考えることが多くなりがちです。しかし、不調者が社会復帰や治癒に向かって歩むためには、苦痛を承知の上で行動するリハビリの重要性も見落としてはなりません。本講ではメンタルヘルス不調からの復職の随所で必要なリハビリの考え方について、事例を提示しつつお話しします。 生涯（専門） 2 単位	50 名	京都産業保健 総合支援センター 相談員 山田 達治 氏
12 月 17 日(木) 午後 2 時～ 午後 4 時 京都府医師会館 2 階会議室 (JR 二条駅東側)	「災害事例と労働安全衛生法令」 産業の“現場”で生じている労働災害だけではなく、新聞などに報道されている災害にも、労働安全衛生法令の規定を知り、沿った対応ができていれば防止できたものが少なからずあります。 本研修では、実際に起こった災害を取り上げ、その防止に有効な労働安全衛生法令上の対応について確認していきます。 ※令和 2 年 11 月 4 日開催の研修会と同内容の研修会です 生涯（更新） 2 単位	30 名	京都産業保健 総合支援センター 相談員 篠原 耕一 氏
12 月 23 日(水) 午後 2 時～ 午後 4 時 京都府医師会館 2 階会議室 (JR 二条駅東側)	「産業医の職務に関連する安衛法の逐条解説と特定化学物質障害予防規則の解説」 2019 年の改正安衛法で産業医に関係する条文が大幅に改正されましたので、その内容について解説します。また、アーク溶接ヒュームが特定化学物質に指定されるなど、特化側の対象物質は毎年のように増えてきていますので、特定化学物質障害予防規則の解説をします。 生涯（更新） 2 単位	40 名	京都産業保健 総合支援センター 相談員 玉泉 孝次 氏
1 月 13 日(水) 午後 2 時～ 午後 4 時 京都府医師会館 3 階会議室 (JR 二条駅東側)	「ストレスチェック制度に伴う“高ストレス者面接マニュアル”を用いた医師面接」 高ストレス者と判定された労働者に対し、医師面接のために開発された“マニュアル”を活用して 産業医面接を体験し、その後の事後措置についても学ぶ（参加型の研修） 生涯（実地） 2 単位	60 名	株式会社産業保健コンサルティングアルク 代表 梶木 繁之 氏 株式会社リコー H&S 統括部 統括産業医 森田 哲也 氏
1 月 21 日(木) 午後 2 時～ 午後 4 時 京都府医師会館 3 階会議室 (JR 二条駅東側)	「労働衛生保護具取扱い及び保守点検」 粉じんマスク、防毒マスク等の各種の労働衛生保護具について、種類から取扱いまで実技を通じて学びます。 生涯（実地） 2 単位	50 名	京都産業保健 総合支援センター 相談員 高田 志郎 氏
1 月 28 日(木) 午後 2 時～ 午後 4 時 京都府医師会館 3 階会議室 (JR 二条駅東側)	「メンタルヘルス対策 産業医・精神科医交流会（事例検討会）」 労働衛生機関の産業医が経験したメンタルヘルス不調の事例を提示し、各事例のポイントについて杉本講師（精神科医）のコメントを得ながら討議を行います。 生涯（実地） 2 単位	50 名	京都産業保健 総合支援センター 相談員 杉本 二郎 氏 相談員 森口 次郎 氏

■ お申し込み方法 ■

「京都産業保健総合支援センター」ホームページ(<https://www.kyotos.johas.go.jp>)からお申し込みください。
定員に達している場合はお申し込みできませんので、ホームページでご確認ください。

■ 受付開始日 ■

研修受付開始日は、研修によって異なります。同センター（TEL：075-212-2600）にご確認ください。
なお、同センターのHPおよびメールマガジン（月 2 回発行。登録（無料）が必要です。）でもお知らせしています。

■ お問い合わせ先 ■

独立行政法人労働者健康安全機構 京都産業保健総合支援センター
 電話. 075-212-2600 FAX. 075-212-2700
 〒 604-8186 京都市中京区車屋町通御池下ル梅屋町 361-1 アーバネックス御池ビル東館 5 階

京都府立医科大学附属病院からのお知らせ

「地域連携の集い」開催のご案内

— 地域全体が集結する医療のために —

京都府立医科大学附属病院と府医では、患者さんの身近な地域にあって頼りになる「かかりつけ医」と、高度で専門的な医療を提供する大学病院が力を合わせて地域の医療を支えていくために、円滑な連携ができるような取組みを進めております。地域医療機関と大学病院が連携することにより提供できる、レベルの高い包括的なケアの実際をご実感いただきたいと考え、共催により下記のとおり「地域連携のつどい」を開催いたします。

京都府立医科大学附属病院と地域の医療機関の皆さまとの、お互いに「顔の見える関係」を構築してゆくためにも、ご多用中とは存じますが、是非ともご参加いただきますようお願いいたします。
なお、今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、Web にて開催させていただきます。

日 時 令和 2 年 12 月 19 日(土) 午後 2 時～午後 5 時

形 式 Web 開催 (Zoom ウェビナー)

内 容

(1) 開会挨拶 夜久 均 病院長

(2) 京都府医師会長挨拶 松井 道宣 会長

(3) 新任教授紹介

リハビリテーション科 三上 靖夫 教授

疼痛・緩和ケア科 天谷 文昌 教授

整形外科 高橋 謙治 教授

(4) シンポジウム

テーマ 「高齢化社会と共に歩む循環器診療」

座長 循環器内科 的場 聖明 教授, 看護部 藤本 早和子 部長

1. 挨拶 循環器内科 的場 聖明 教授

2. 講演 1 経カテーテル大動脈弁治療 (TAVI) 循環器内科 全 完 講師

3. 講演 2 京都心不全ネットワーク 循環器内科 白石 裕一 講師

4. パネルディスカッション

テーマ「高齢者の循環器における地域包括ケアについて」

紹介元の医師からの話題提供 まつばらクリニック 松原 欣也 院長

心不全・リハビリテーションの話題 林ハートクリニック 林 宏憲 院長

地域連携室看護の立場から 看護部 池部 裕美 看護師

5. 総合討論

(5) 来賓挨拶 京都大学医学部附属病院 宮本 享 病院長

(6) 閉会挨拶 加藤 則人 副病院長

対 象 医療関係者 (どの職種の方でも参加可能です。)

参加費 無料

共 催 京都府立医科大学附属病院 京都府医師会

※日医生涯教育制度：45 呼吸困難 (0.5 単位), 10 チーム医療 (0.5 単位), 12 地域医療 (1 単位)

申込方法は裏面にあります。

ご参加には事前の参加登録が必須です。

事前参加登録

・ウェブによる申し込み

下記にアクセスしてください。

<https://ux.nu/SsZQi> (大文字小文字区別)

もしくは右記 QR コードよりお申し込みください。⇒

事前参加登録



・メールによる申し込み

以下を入力の上、メールにてお申し込みください。

(送信先 : renkei@koto.kpu-m.ac.jp)

表題に「地域連携の集い参加申込」と入力ください

<入力項目>

①メールアドレス ②医療機関名 ③住所 ④職種 ⑤氏名(姓・名)

⑥日医生涯教育講座受講証の送付先住所(医師の方で受講証を希望される場合)

当日の視聴手順

入力されたメールアドレス宛に当日参加用 URL が届きます。

開始時間になりましたらアクセスしてください。(※参加用 URL は renkei@koto.kpu-m.ac.jp より届きます。)

注意事項

- ・一医療機関から複数名参加される場合であっても申し込みは一人ずつをお願いします。
- ・参加申し込み後、1～3日以内に参加確認メールをお送りします。(土日祝を除く)
※参加確認メールが届かない場合は地域医療連携室までお問い合わせください。
- ・受講確認のため、Zoom 入室時には申し込みと同じ名前(姓・名)で入室してください。
- ・当日までにテスト環境で接続テストを実施いただくことをお勧めしております。

テスト環境 URL <http://zoom.us/test>

テスト環境



申込締め切り

12月17日(木)

お問い合わせ

075-251-5286 (担当: 地域医療連携室 藤本・山本)

令和 2 年度 かかりつけ医・産業医等うつ病対応力向上研修会

うつ病は自殺の主要な要因のひとつであり、その早期発見が喫緊の課題であることから、厚生労働省においては、内科医等のかかりつけ医・産業医と精神科の専門医とが連携するよう推奨しております。そこで、本年も京都府、京都市と府医が中心となり、内科診療等における「うつ」について、かかりつけ医・産業医と精神科医の円滑な連携システムを構築する一助とするための研修会を、下記のとおり企画いたしました。多数ご出席くださいますようお願い申し上げます。

と き ①北部 令和 3 年 1 月 23 日(土) 午後 2 時～午後 5 時 定員 30 名
 ②南部 令和 2 年 12 月 19 日(土) 午後 2 時～午後 5 時 定員 50 名
※定員になり次第締め切ります。

ところ ①北部 舞鶴医師会館 2 階 大会議室(京都府舞鶴市字倉谷 1350-11)
 ②南部 京都府医師会館 3 階 310 会議室

内容・講師

	北 部	南 部
14:00～ 15:00	I 基礎知識 〔講師〕 中村佳永子 氏 (京都府精神保健福祉総合センター 所長)	I 基礎知識 〔講師〕 波床 将材 氏 (京都市こころの健康増進センター 所長)
15:00～ 16:00	II 症例検討「うつ病の診断と治療」 〔講師〕 岸 信之 氏 (社会福祉法人京都社会事業財団 京都桂病院 副院長)	II 症例検討「うつ病の診断と治療」 〔講師〕 岸 信之 氏 (社会福祉法人京都社会事業財団 京都桂病院 副院長)
16:00～ 17:00	III 症例検討「うつ病の治療・ケア・連携」 〔講師〕 山野 純弘 氏 (舞鶴医療センター精神科 部長)	III 症例検討「リワーク支援の実際」 〔講師〕 杉本 二郎 氏 (杉本医院からすまメンタルクリニック 院長)

11 月 1 日号では北部と南部の内容・講師の記載が入れ替わっておりました。誠に申し訳ございませんでした。

主 催 京都府・京都市・京都府医師会

後 援 (予定含む)

京都内科医会・京都精神科医会・京都精神神経科診療所協会・京都精神科病院協会
 綾部医師会・福知山医師会・舞鶴医師会・京都産業保健総合支援センター

※日医認定産業医単位申請予定(生涯専門: 3 単位)

※日医生涯教育 カリキュラムコード: 3 単位

(I) 2. 医療倫理: 臨床倫理: 0.5 単位, 4. 医師一患者関係とコミュニケーション: 0.5 単位

(II) 5. 心理社会的アプローチ: 0.5 単位, 11. 予防と保健: 0.5 単位

(III) 69. 不安: 0.5 単位, 70. 気分の障害(うつ): 0.5 単位

- 参加ご希望の方は、下記申込書に必要事項をご記入の上 京都府医師会地域医療 2 課 FAX (075-354-6097) まで 開催日の 1 週間前までにお申し込みください。 ※参加費無料

—————*—————*—————*—————*—————*—————*—————

令和 2 年度 かかりつけ医・産業医等うつ病対応力向上研修会

ふりがな		医 療 機 関 名	
ご 氏 名			
地 区 名		連絡先電話番号	
参加希望日 (該当に○)	① 1 月 23 日 (北部) ② 12 月 19 日 (南部)		
産業医資格 (該当に○)	あ り ・ な し		
産 業 医 認 定 番 号			

※公共交通機関でのご来館をお願いいたします。

※産業医単位をご希望の際は認定番号の記載をお願いいたします。

【お願い】

マスク着用の上ご入場ください。発熱等の症状のある場合は参加をお控えください。南部（京都府医師会館）については、午後から京都市急病診療所が開所しております（小児科）ので、公共交通機関でのご来場にご協力をお願いいたします。

送付先 FAX : 075 - 354 - 6097 (京都府医師会 地域医療 2 課)

京都府立医科大学附属病院からのお知らせ

第 11 回地域連携カンファレンス開催のご案内 (当番診療科：脳神経外科)

京都府立医科大学附属病院では、地域に暮らす人々の健康増進のため、地域の医療機関の皆さまとの連携をさらに強化することを重要な柱としております。そのためには地域の医療機関の皆さまとの「顔の見える関係」が何より重要であると考え、定期的に意見交換会（地域連携カンファレンス）を開催しております。今回は脳神経外科が当番診療科として開催いたします。下記のとおりご案内申し上げますので、ぜひともご参加いただければ幸いです。なお、今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、Web にて開催させていただきます。

日 時 令和 2 年 12 月 24 日(木) 午後 5 時～午後 6 時 10 分

形 式 Web 開催 (Zoom ミーティング)

担当診療科 脳神経外科

内 容

- (1) 脳神経外科診療の概要 橋本 直哉 教授
- (2) 脳血管障害診療の進歩と脳血管内治療が果たす役割
南都 昌孝 学内講師
- (3) 神経外科診療－脊椎脊髄外科手術からニューロモデュレーションまで
梅林 大督 助教

対 象 医療関係者（どの職種の方でも参加可能です。）

参加費 無料

主 催 京都府立医科大学附属病院

後 援 京都府医師会

※日医生涯教育制度：32 意識障害 (0.5 単位), 78 脳血管障害後遺症 (0.5 単位)

申込方法は裏面にあります。

ご参加には事前の参加登録が必須です。

事前参加登録

・ウェブによる申し込み

下記にアクセスしてください。

<https://ux.nu/EfMY8> (大文字小文字区別)

もしくは右記 QR コードよりお申し込みください。⇒

事前参加登録



・メールによる申し込み

以下を入力の上、メールにてお申し込みください。

(送信先: renkei@koto.kpu-m.ac.jp)

表題に「第 11 回地域連携カンファレンス参加申込」と入力ください

<入力項目>

①メールアドレス ②医療機関名 ③住所 ④職種 ⑤氏名(姓・名)

当日の視聴手順

入力されたメールアドレス宛に当日参加用 URL が届きます。

開始時間になりましたらアクセスしてください。(※参加用 URL は renkei@koto.kpu-m.ac.jp より届きます。)

注意事項

・一医療機関から複数名参加される場合であっても申し込みは一人ずつをお願いします。

・参加申し込み後、1～3 日以内に参加確認メールをお送りします。(土日祝を除く)

※参加確認メールが届かない場合は地域医療連携室までお問い合わせください。

・当日までにテスト環境で接続テストを実施いただくことをお勧めしております。

テスト環境 URL <http://zoom.us/test>

テスト環境



申込締め切り

12 月 22 日(火)

お問い合わせ

075-251-5286 (担当: 地域医療連携室 藤本・山本)

2020 年 12 月 京都市 (乙訓 2 市 1 町) 病院群輪番編成表

太字の病院は小児科の当番病院です。

日	曜	A ブロック		B ブロック		C ブロック		D ブロック	
1	火	賀	茂	民 医 連 中 央		堀	川	蘇	生 会
2	水	民医連あすかい		新	河 端	明	石	洛 和 会 音 羽	
3	木	京 都	下 鴨	西	京 都	吉	川	医 仁 会 武 田	
4	金	バ プ テ ス ト		シ	ミ ズ	が	く さ い	共	和
5	土	西	陣	三 菱 京 都		京 都	回 生	京 都	久 野
⑥	日	富 田	富 田	泉 谷	千 春 会	京都市立	洛和会丸太町	原 田	医仁会武田
7	月	富	田	太	秦	相	馬	医 仁 会 武 田	
8	火	室	町	民 医 連 中 央		武 田		伏 見	桃 山
9	水	洛	陽	泉	谷	京 都	南	洛 和 会 音 羽	
10	木	バ プ テ ス ト		洛西ニュータウン		京 都	武 田	愛 生 会 山 科	
11	金	大 原	記 念	内	田	武	田	医 仁 会 武 田	
12	土	京 都 から す ま		京 都 桂		十	条	洛 和 会 音 羽	
⑬	日	西 陣	バプテスト	河 端	シ ミ ズ	京都市立	京都九条	医仁会武田	金 井
14	月	バ プ テ ス ト		千 春 会		吉 祥	院	洛 和 会 音 羽	
15	火	京 都 博 愛 会		シ	ミ ズ	武	田	医 仁 会 武 田	
16	水	愛 寿 会 同 仁		三 菱 京 都		が	く さ い	洛 和 会 音 羽	
17	木	バ プ テ ス ト		向 日 回 生		吉	川	共	和
18	金	バ プ テ ス ト		洛 西 シ ミ ズ		相	馬	医 仁 会 武 田	
19	土	賀	茂	千 春 会		洛和会丸太町		洛 和 会 音 羽	
⑳	日	京都下鴨	京都下鴨	長 岡 京	洛西ニュータウン	京都市立	新京都南	蘇 生 会	医仁会武田
21	月	バ プ テ ス ト		京 都 桂		十	条	医 仁 会 武 田	
22	火	民医連あすかい		太	秦	武 田		な	ぎ 辻
23	水	京 都	下 鴨	新	河 端	が	く さ い	洛 和 会 音 羽	
24	木	西	陣	西	京 都	京 都	武 田	医 仁 会 武 田	
25	金	バ プ テ ス ト		内	田	明	石	原 田	
26	土	富	田	京 都	桂	堀	川	洛 和 会 音 羽	
㉑	日	民医連あすかい	民医連あすかい	長 岡 京	三 菱 京 都	京都市立	京都回生	金 井	大 島
28	月	室	町	民 医 連 中 央		吉 祥	院	医 仁 会 武 田	
29	火	賀 茂	賀 茂	済 生 会	京 都 桂	京都回生	洛和会丸太町	むかいじま	愛生会山科
30	水	バプテスト	バプテスト	河 端	洛西シミズ	相 馬	京都九条	京都久野	医仁会武田
31	木	バプテスト	バプテスト	長 岡 京	向日回生	吉 川	新京都南	大 島	伏見桃山

病院群輪番協力医療機関一覧 (五十音順)

A ブ ロ ッ ク		B ブ ロ ッ ク		C ブ ロ ッ ク		D ブ ロ ッ ク	
病 院 名	電話番号	病 院 名	電話番号	病 院 名	電話番号	病 院 名	電話番号
愛寿会同仁病院	431-3300	泉 谷 病 院	801-0111	明 石 病 院	313-1453	愛生会山科病院	594-2323
賀 茂 病 院	493-3330	太 秦 病 院	811-7711	が く さ い 病 院	754-7111	医仁会武田総合病院	572-6331
京都大原記念病院	744-3121	内 田 病 院	882-6666	吉 祥 院 病 院	672-1331	大 島 病 院	622-0701
京都からすま病院	491-8559	河 端 病 院	861-1131	京 都 回 生 病 院	311-5121	金 井 病 院	631-1215
京都下鴨病院	781-1158	京 都 桂 病 院	391-5811	京 都 九 条 病 院	691-7121	京 都 久 野 病 院	541-3136
京都博愛会病院	781-1131	京都民医連中央病院	861-2220	京 都 市 立 病 院	311-5311	共 和 病 院	573-2122
京都民医連あすかい病院	701-6111	済生会京都府病院	955-0111	京 都 武 田 病 院	312-7001	蘇生会総合病院	621-3101
富 田 病 院	491-3241	シ ミ ズ 病 院	381-5161	京 都 南 病 院	312-7361	な ぎ 辻 病 院	591-1131
西 陣 病 院	461-8800	新 河 端 病 院	954-3136	十条武田リハビリ病院	671-2351	原 田 病 院	551-5668
日本バプテスト病院	781-5191	千 春 会 病 院	954-2175	新京都南病院	322-3344	伏見桃山総合病院	621-1111
室 町 病 院	441-5859	長 岡 京 病 院	955-1151	相 馬 病 院	463-4301	むかいじま病院	612-3101
洛 陽 病 院	781-7151	西 京 都 病 院	381-5166	武 田 病 院	361-1351	洛和会音羽病院	593-4111
		三 菱 京 都 病 院	381-2111	堀 川 病 院	441-8181		
		向日回生病院	934-6881	吉 川 病 院	761-0316		
		洛西シミズ病院	331-8778	洛和会丸太町病院	801-0351		
		洛西ニュータウン病院	332-0123				

〔留意事項〕

- ①病院群の輪番制度は、あくまでも補完的な施策であることから、最終的なよりどころとしてご利用ください。最寄りあるいは知り合いの病院で処理し得る時は、できるだけ処理していただくこと。困ったときのみ利用してください。
- ②当番病院を利用される場合は、必ず事前に当番病院に電話連絡をし、原則として当番病院の医師の了解を得た上で後送してください。さらにできれば、患者に診療情報提供書を持たせてください。
- ③ **〔太字〕** の病院は小児科専用の当番病院で、全域を対象とします。この他は一般(内科, 外科)の後送病院です。
- ④休日・日曜日の当番日に、1ブロックに2つの病院名もしくは同一病院名が左右に分けて書かれておりますが、左側が昼間(8:00～18:00)で右側は夜間(18:00～翌朝 8:00)の当番病院です。
- ⑤当番病院の診療応需時間(原則として)
- ・休 日 ア. 午前 8 時～午後 6 時
イ. 午後 6 時～翌朝午前 8 時
 - ・休日以外 午後 6 時～翌朝午前 8 時
- なお休日とは、日曜日・祝日・振替休日および年末年始(12月29日～1月3日)をいいます。

〔太字〕 の病院は小児科のみの当番病院です (対象＝全域)。ご注意ください。

京 都 府 医 師 会 長・松井 道宣
京 都 府 病 院 協 会 長・辰巳 哲也
京 都 私 立 病 院 協 会 長・清水鴻一郎

介護保険ニュース

新型コロナウイルス感染症に係る介護サービス事業所の 人員基準等の臨時的な取り扱いについて（第 16 報）

新型コロナウイルス感染症に係る介護サービス事業所の人員基準等の臨時的な取り扱いにつきまして、第 16 報が発出されましたのでお知らせします。

問 1 ユニットリーダー研修については、「新型コロナウイルス感染症に係るユニットリーダー研修の取扱について」（令和 2 年 2 月 28 日付厚生労働省老健局高齢者支援課事務連絡）において、実地研修の延期・中止、当該年度に実施できない実地研修については、来年度、指定された実地研修施設において研修を受講できるものとして取り扱うことを検討するよう通知されている。新型コロナウイルス感染症の影響により実地研修の中止・延期が継続している中において、人員基準上のユニットリーダー研修実地研修未修了者の人員基準上の取扱い如何。

（答） ユニットリーダー研修については、今般の新型コロナウイルス感染症への対応により、例年どおり実地研修が実施できない期間が生じていることから、特例措置として、当面の間、講義・演習を受講済みであって実地研修は未修了の者について、実地研修が可能となった際は速やかに受講することを条件に、人員基準上、暫定的にユニットリーダー研修修了者として取り扱って差し支えないものとする。

問 2 ユニットリーダー研修及びユニットケア施設管理者研修については、「〔ユニットケア施設管理者研修〕及び〔ユニットリーダー研修〕の実施について」（平成 29 年 6 月 1 日老高発 0601 第 3 号厚生労働省老健局高齢者支援課長通知）によりカリキュラムが示されているところであるが、新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえた対応如何。

（答） ユニットリーダー研修及びユニットケア施設管理者研修の講義・演習部分については、令和 2 年度第一次補正予算において通信教材を作成しているところであり、これを活用するなどオンライン化を図ることが望ましい。なお、通信教材については、別途 DVD 媒体で 10 月下旬頃に郵送する予定であることを申し添える。

社会福祉施設等における面会も含めた感染拡大防止のための留意点については、「社会福祉施設等における感染拡大防止のための留意点について（その 2）（一部改正）」（令和 2 年 10 月 15 日付厚生労働省健康局結核感染症課ほか連名事務連絡）においてお示したところであるが、ユニットリーダー研修における実地研修の実施については、地域の感染状況等を踏まえ、各自自治体において委託先と協議の上実施の可否を検討し、委託先及び実地研修施設へ方針等を周知すること。

なお、ユニットリーダー研修及びユニットケア施設管理者研修をオンライン以外で実施するに当たっては、

- ・研修受講者が発熱、のどの痛み、倦怠感、嗅覚・味覚障害等の症状を有する場合は受講を

断ること

- ・研修中のマスク着用，研修前後の手指消毒を求めること
- ・研修に使用する机，椅子，ドアノブ等の清掃及び消毒を行うこと
- ・人と人との距離をとること（Social distancing：社会的距離）
- ・定期的に換気を行うこと

などの適切な感染防止対策を講じること。また，研修目的及びカリキュラム内容に沿っていれば，具体的な実施方法については，各自治体において柔軟に判断することで差し支えない。

(問い合わせ先)

○厚生労働省老健局高齢者支援課

TEL：03－5253－1111（内線 3972）

京都府医師会会員の皆様へ ～ぜひ お問い合わせください～

<中途加入も可能です>

医師賠償責任保険制度(100万円保険)

【医師賠償責任保険・医療施設賠償責任保険】

本保険制度は、日本医師会医師賠償責任保険および特約保険の免責金額である100万円部分の補償ならびに施設に関わる賠償責任をカバーする医療施設賠償責任保険が付帯されたもので、日本医師会医師賠償責任保険制度を補完することを目的として発足いたしました。

加入タイプⅠ

ご加入対象(被保険者)：京都府医師会会員である診療所の開設者個人(A1会員)、医師会会員を理事もしくは管理者として診療所を開設する法人
人格権侵害が補償されます。
(※医療施設賠償責任保険のみ)

加入タイプⅡ

ご加入対象(被保険者)：京都府医師会会員である勤務医師(A2会員)、法人病院の管理者である医師個人

※医療施設賠償責任保険は含みません。

年間保険料

加入タイプⅠ…6,980円・加入タイプⅡ…4,010円ですが、

中途加入の場合は保険料が変わりますので代理店にご連絡ください。

※各タイプの補償内容はパンフレットをご覧ください。

※ご加入者数により、保険料の引き上げ等の変更をさせていただくことがありますので、予めご了承ください。

医師賠償責任保険に個人を被保険者としてご加入の場合、刑事弁護士費用担保特約が付帯されます。

このご案内は、医師賠償責任保険、医療施設賠償責任保険の概要についてご紹介したものです。保険の内容はパンフレットをご覧ください。詳細は契約者である団体の代表者の方にお渡ししてあります保険約款によりませんが、ご不明な点がありましたら代理店または保険会社におたずねください。

【契約者】 一般社団法人 京都府医師会

【取扱代理店】 東京海上日動代理店 有限会社 ケーエムエー（京都府医師会出資会社）

〒604-8585 京都市中京区西ノ京東梅尾町6 京都府医師会館内

TEL 075-354-6117 FAX 075-354-6497

【引受保険会社】 東京海上日動火災保険株式会社 担当課：京都支店営業課

〒600-8570 京都市下京区四条富小路角

2020年3月1日作成 19-TC07799

京都医報 No.2185

発行日 令和2年11月15日

発行所 京都医報社

〒604-8585 京都市中京区西ノ京東梅尾町6

TEL 075-354-6101

E-mail kma26@kyoto.med.or.jp

ホームページ <https://www.kyoto.med.or.jp>

発行人 松井 道宣

編集人 飯田 明男

印刷所 株式会社ティ・プラス



発行所 京都医報社

〒604-8585 京都市中京区西ノ京東栞尾町6 TEL 075-354-6101

発行人 松井道宣 編集人 飯田明男